

人
を
み
る。
心
を
み
る。



愛知医科大学 医学部

是学 具眼考究

「具眼」とは、江戸中期の画家で近年脚光を浴びている伊藤若冲の言葉として知られていますが、「確かな眼」、「見通す眼」、「眼力」、「慧眼」といった意味であり、医学的には「正しくみる」ことを意味します。「みる」とは「診る」、「看る」、「見る」、「観る」、「視る」のすべてを含み、個々の患者の正確な病態とともに生物学的、心理学的、経済的、社会的なすべての視点に立った包括的、全人的に患者を把握する感性を意味します。さらに卓越した研究・教育それに大学の正しい未来の方向性の洞察には「具眼」が必要です。「考究」とは、「具眼」によって得た神髄を深く考え、それに対して正しく対処して究めることを指します。

建学の精神

本学は、新時代の医学知識、技術を身につけた教養豊かな臨床医、特に時代の要請に応じて地域社会に奉仕できる医師を養成し、あわせて医療をよりよく発展向上させるための医学指導者を養成することを目的とする。

そのため、医学を中心とした広汎な基礎的知識を授け、深い専門的技術を教授研究し、心身ともに健康なる医師を養育し、その知的、道徳的能力及び社会的有用性の向上を期している。

なお、私学の特性に鑑み、その自主性を重んじ、公共性を高めることによって、私立医科大学の健全なる発展を図り、社会福祉、殊に地域医療に貢献するとともに、東南アジアその他発展途上国の医療の進歩、向上に協力せんとする。

本学の修業年限は6年で、その間の教育に一貫性を期するとともに、研究の交流を図るために、その組織を基礎科学、基礎医学、臨床医学の各部門にわかし、それぞれの緊密なる連携を図ることにした。この点本学が新しい構想のもとに企画したところであり、本学の特色とするところである。かくして新しい「カリキュラム」をもって人間形成及び創造性の啓発を図り、人命の尊厳を守り、ヒューマニズムに徹し、各自の自主的、自発的勉学を尊重し、人間としての自覚にたった医学教育を目指しているのである。



少子高齢化の急速な進行や医療技術の進歩、
医療提供の場の多様化など、
現在、医療を取り巻く環境は著しく変化しています。
そうした中、愛知医科大学では、
時代の先を見据えた様々な取り組みを積極的に推進。
学是「具眼考究」のもと、高度で先進的な
知識・技術の修得に留まらず、
ヒューマニズムに徹することのできる
「情緒と品格を備えた医療人」の育成に力を注いでいます。

人を、心を、みるために。

今後、どんなに社会や時代が変わっても、
どんなに医療技術が進んでも、
人に寄り添う医療の大切さは変わりません。

人をみる。心をみる。

医志

Contents

- 01 医志 人をみる。心をみる。
- 03 学長メッセージ／沿革
- 04 医学部長メッセージ
- 05 愛知医科大学は、こんな大学
- 07 わたしたちの、医志〔卒業生〕
- 09 わたしたちの、医志〔在学生〕

- 11 愛知医科大学の特色
 - 愛知医科大学ならではの教育&活動
- 13 ■ 初年次教育
- 15 ■ 臨床教育
- 17 ■ 充実の学生指導・支援体制
- 19 ■ 愛知医科大学病院
- 22 ■ 愛知医科大学
メディカルセンター
 - 愛知医科大学
眼科クリニックMiRAI
- 23 ■ 学修施設

- 25 教育カリキュラム
- 27 ■ 愛知医科大学の6年間
- 29 ■ 1学年次カリキュラム
- 30 ■ 2学年次カリキュラム
- 31 ■ 3学年次カリキュラム
- 32 ■ 4学年次カリキュラム
- 33 ■ 5学年次カリキュラム
- 34 ■ 6学年次カリキュラム
- 35 ■ 医師国家試験に向けて
- 36 ■ 大学院医学研究科
- 37 ■ 国際交流

- 41 キャンパスライフ
 - キャンパスマップ
- 43 ■ キャンパスカレンダー
- 44 ■ クラブ&サークル
- 45 ■ 全国型の医科大学
- 46 ■ エリアインフォメーション



新しい時代に 対応できる 医療人を 育成します

学長 伊藤 恭彦

愛知医科大学は1972年に建学されました。「新時代の医学知識・技術を備えた教養豊かな臨床医を養成する」「時代の要請に応じて地域社会に奉仕できる医師を養成する」「医療をよりよく発展向上させるための医学指導者を養成する」という建学の精神のもと、1980年度に大学院医学研究科、その後、2000年度に看護学部、2004年度に大学院看護学研究科が設置され、現在は2学部・2大学院研究科体制で教育・研究活動を進めています。

また、愛知医科大学病院は尾張東部医療圏の救急医療の中核として総合的かつ高度な医療を提供してきました。1996年に愛知県で初の高度救命医療センターの認可を受け、2002年からドクターヘリを

運航、2023年からは愛知県重症外傷センター病院に指定され、ハイブリッドERを導入するなど重症外傷患者のさらなる救命率向上に努めています。

さらに、愛知医科大学創立50周年記念事業の一環として、岡崎市に「愛知医科大学メディカルセンター(分院)」、産学連携寄附講座と眼科日帰り手術ラボを中心とした「愛知医科大学眼科クリニックMiRAI」を開院するなど、地域医療の拠点、先進医療・研究拠点としての活動もスタートしました。

今日の日本は少子高齢化に伴い、疾病構造が大きく変化してきています。高齢患者は併存疾患を持つ場合が多く、ポリファーマシー(多剤服用)が特徴です。そのため1臓器だけでなく全身を診る力を

身につけた上で高度な専門性を持つことが、今後ますます必要になってきます。愛知医科大学では、6年間の教育課程を通じて医学的知識と臨床技術、そして医師としての倫理観と人間性を段階的かつ体系的に修得できる体制が整っています。そして教育・研究・診療のいずれにおいても経験豊富で熱意ある教員陣が、学生一人ひとりに向き合い、学修面だけでなく精神面も含めてきめ細かく支える風土があることも大きな強みです。

常に“For the public, for the patients”という心を持ち、医療は社会貢献であるということを胸に、生涯にわたって学ぶ姿勢、社会貢献を实践する姿勢を愛知医科大学の6年間を通して修得してください。

沿革

1971●12.25
愛知医科大学(医学部医学科)
設置認可
1972●4.11
医学部第1回入学式
1974●5.30
新附属病院使用許可
●9.9
高等看護学院設置認可
(1976.9.20 看護専門学校に改称)
1979●7.1
附属病院救命救急センター開設

1980●3.26
大学院医学研究科設置認可
1981●4.23
情報処理センター設置
1983●4.1
加齢医学研究所設置
●4.20
メディカルクリニック開設許可
●12.21
附属動物実験施設設置
(1988.4.1 動物実験センターに改称)

1987●10.1
運動療育センター設置
1988●4.1
視聴覚教材センター設置
核医学センター設置
研究機器センター設置
分子医科学研究所設置
1993●6.16
産業保健科学センター設置
1999●12.22
看護学部看護学科設置認可
2001●6.16
薬物分析センター設置

2002●1.1
学際的痛みセンター設置
●4.26
看護専門学校廃止認可
2003●11.27
大学院看護学研究科設置認可
2004●4.1
医学教育センター設置
2008●4.1
総合医学研究機構設置
臨床試験センター設置
看護実践研究センター設置



地域や社会の 未来をひらく 医療人を 育てるために

医学部長 笠井 謙次

今後数年の間に医療を取り巻く環境は激変します。すでに地域医療構想などの新しい医療の在り様はもちろん、AIやICTを用いた診療DX、さらには再生医療などの新たな成果が医療現場に登場する日も近いでしょう。一方、超高齢社会において複数の疾患を合わせ持つ患者の総合的診療や複雑化した社会の中で悩みを抱える人々への寄り添いなど、医師に求められる基本能力自体も日々多様化、高度化しています。

こうした中、本学は建学以来、社会の要請に応えるべく常に変化し発展し続けてきました。学術研究部門として、超高齢社会の到来を見越した1983年の加齢医科学研究所に始まり、難病に対

する新規治療法の社会実装を目指す神経iPS細胞研究部門や、社会医科学的見地から大規模災害への対処を向上させる災害医療研究センターなどを開設してきました。診療部門の中心である愛知医科大学病院は高度先進医療を地域に提供すると共に、県内でいち早く高度救命救急センターにドクターヘリを配備しました。

さらに重症外傷センター病院に指定され、重症外傷患者の救命の拠点として期待されています。臨床各科のロボット支援手術やハイブリッド手術はもちろん、血管内治療・神経内視鏡を用いた低侵襲脳外科治療や複雑な痛みに対処する疼痛医学講座など、多くの教員が先端的な研究知見あるいはユニークな医療を実践して

おり、その成果を日々学生教育に還元しています。

加えて、学生の希望や意見を反映しながらキャンパスの整備を進めてきました。全国住みやすさランキングトップクラスの長久手市にあり、立石池周囲の緑あふれる美しい環境の下、本学での学生生活は知的興奮に溢れ青春を謳歌できる素晴らしいものになるでしょう。

社会構造や情報技術が変わっても、医療の根源にあるのはヒューマニズムや医療人としてのプロフェッショナルリズムです。本学は知識や技術修得に留まらず、これからの社会、地域を支える「人に優しい医療人」の育成を進めていきます。

2010・4.1

総合医学研究機構改組
(動物実験センター、核医学センター、
研究機器センター、臨床試験センター
を同機構の部門として統合)

2012・1.4

長久手市市制施行に伴う
本法人所在地名地番の変更
(愛知県長久手市岩作雁又1番地1)

●4.1

先端医学研究センター設置

2014・4.23

新病院(中央棟)使用許可
●11.1
災害医療研究センター設置

2015・4.1

国際交流センター設置
シミュレーションセンター設置

2016・4.1

先端医学研究センター廃止
研究創出支援センター設置

2017・4.1

医学情報センター(図書館)廃止
情報処理センター廃止
総合学術情報センター設置

2021・3.18

メディカルセンター使用許可

2022・6.1

メディカルクリニックを
眼科クリニックMIRAIと改称

2022・7.1

学際的痛みセンター廃止

2024・8.29

大学院看護学研究科
(博士後期課程)設置認可

2024・9.1

アドミッションセンター設置

2025・4.1

クリニカルアナトミーセンター設置
看護実践研究センター廃止
ヘルスケア共創センター設置

愛知医科大学は、こんな大学

愛知医科大学医学部は1972年の開学以来、「情緒と品格を兼ね備えた医療人」の育成に取り組み、すでに4,900名以上の卒業生が医師として活躍。今後も、あらゆる面で教育環境の充実に力を注いでいきます。

初年次教育&学修環境

医学生としての意欲を高める 初年次教育

1学年次の前学期から始まる解剖学の講義をはじめ、後学期からは生理学、生化学を開講。入学直後から専門領域の様々な学びを開始することで、医学への関心や学修意欲を高めます。

▶ P13



学ぶ意欲が高まる学修環境が充実

図書館や本館セミナー室のほか、学生ホール、レストランオレンジなど、個人学修やグループ学修ができるスペースを豊富に用意しています。さらに医師国家試験合格に向けて、6学年次全員に割り当てられるセミナー室も確保しています。

▶ P23



レストランオレンジ



学生ホール

臨床教育環境

総合的かつ高度な医療を提供する 大学病院

愛知医科大学病院は、中部地区屈指の大学病院として高度な医療を提供すると共に、充実の教育環境を実現しています。

▶ P19

愛知県内でいち早く ドクターヘリを配備

高度救命救急センターに、愛知県内でいち早くドクターヘリを配備。救急医療専門の医師や看護師が迅速に出動できる体制を整えています。

▶ P21

実践力を養う臨床教育を重視

4学年次の10月から「臨床実習生(医学)」(英語表記: Clinical Clerkship Student)として診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップA)がスタート。実践力を早期から養います。

▶ P15



より充実した臨床教育のための シミュレーションセンター

高機能の人体シミュレーターを用いた各種トレーニングなど、臨床技能の修得及び向上のためのシミュレーションセンターを設置しています。

▶ P16



医師国家試験

高水準の 医師国家試験合格率

2023年の100%(新卒)をはじめ、高水準の医師国家試験合格率を維持しています。

▶ P35



学生へのサポート

学生一人ひとりをきめ細かくサポートする
学生指導・支援体制

一人ひとりが充実した学生生活を送れるよう、きめ細かな学生指導体制や多様な相談窓口を設けています。

▶ P17



キャンパスライフ

学年を越えて交流できる**28**の
クラブ&サークル

クラブ&サークル活動が盛んなことは愛知医科大学の伝統です。学年の枠を越えた交流が広がります。

▶ P44

医大祭などみんなで盛り上げられる
イベントも!

毎年11月に開催される医大祭では、模擬店や球技大会など多くのイベントを開催。みんなで盛り上げられます!



国際交流

7カ国**9**大学と積極的に
国際交流

国際社会が求める医療改革への動きに的確に対応できる医師の育成を目指し、アメリカ、ドイツ、タイ、韓国、ポーランドなど7カ国9大学への留学を支援しています。

▶ P37



女性医師へのサポート

女性医師が働きやすい環境を支援

保育所の開設や病児保育対応の実施など、女性医師が働きやすい環境づくりを積極的に進めています。

▶ P28

アクセス&生活環境

名古屋駅からのアクセスも快適!

「名古屋」駅から
地下鉄東山線で「藤が丘」駅まで約 **27** 分
「藤が丘」駅から
名鉄バスで約 **15** 分

“名古屋の大動脈”である地下鉄「東山線」と名鉄バスで、名古屋駅や名古屋中心部へのアクセスも便利です。

キャンパスのある
長久手市は県内有数の**文教エリア**

長久手市は県内でも有数の文教エリアとして、また自然豊かなニュータウンとして発展を続けています。

▶ P46

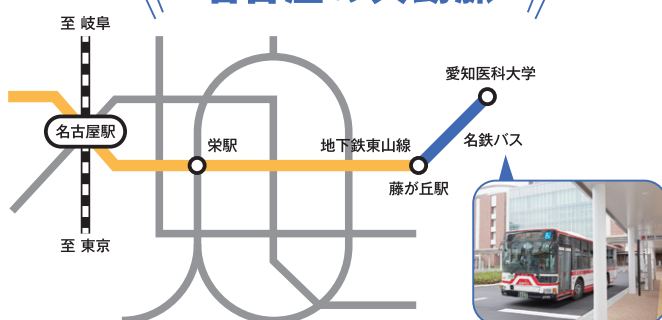
東京・大阪エリアの大学と比べて生活費も
リーズナブル

大学周辺の家賃相場は東京・大阪と比べてリーズナブル。治安や利便性も良く、快適な学生生活を送れます。

▶ P46

地下鉄東山線は
名古屋市内を東西につなぐ

“名古屋の大動脈”



長久手市は、こんな街

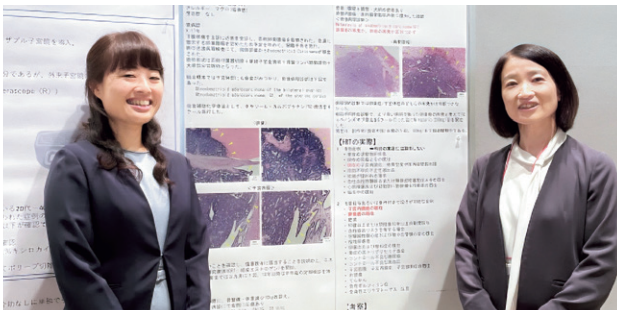
市民の平均年齢の若さ	人口の自然増加率 (出生数－死亡数)	住みよさランキング2025 「総合評価」
全国 第1位 日本一若い街 40.2歳	全国第4位 第1位 (東海地区)	全国第4位 第1位 (東海地区)

参考資料 ●市民の平均年齢(2020年国勢調査) ●住民基本台帳に基づく人口動態(2025年総務省)
●住みよさランキング2025(東洋経済新報社)



碧南市民病院 産婦人科専門医 藤原 聖奈 (2018年度卒業)

2012年、愛知医科大学に地域特別枠で入学し、卒業後は愛知医科大学病院で初期・後期臨床研修を行いました。2024年から地域赴任のため、碧南市民病院で産婦人科専門医として勤務しています。また週に1日、愛知医科大学病院の麻酔科で研修をさせていただいているほか、女性医学学会で症例報告をする機会もいただき、発表に向けての準備を進めています。



医師を目指すようになったのは小学生の頃です。かかりつけの小児科の先生が筆記体でカルテを書いている姿をカッコいいと思い、「私もお医者さんになりたい!」と憧れるように。そして中学1年生の時、授業で南アフリカの病院列車*について学ぶ機会が



あり、列車の到着に合わせて何日も移動してやっと医療を受けることのできる人々がいることを知って、医師への夢がより強くなりました。大学入学後、地域特別枠の担当教員が産婦人科の教授で、当時の教授から様々な指導やアドバイスをいただいたことが産婦人科医を志望する大きなきっかけになりました。

碧南市民病院では、主に女性のホルモンの変動に伴う身体の不調に寄り添う女性医学の分野や、妊娠・分娩に対応する周産期分野、子宮や卵巣の良性・悪性腫瘍を扱う腫瘍分野に対応しています。手術に関しては、帝王切開ならびに婦人科疾患に対する開腹手術、腹腔鏡下手術、腔式手術など一般的な手技を行っています。

卒業後に関するQ&A

Q 卒後臨床研修センターとは?

A 本学では、研修医は卒後臨床研修センターに籍置き、卒後臨床研修センター長の総括管理のもと、各プログラム別ローテーションに則り、各診療科で研修を行います。
卒後臨床研修センターには個人用の机、ロッカー、共用の電子カルテ端末、文献検索・資料作成用PC、コピー機、シャワー室、仮眠ブースなどを備えています。

Q 女性研修医の割合は?

A 研修医の男女比率は約1:1です。現在、育児支援体制を拡充しており、出産後は子どもを院内託児所に預けて働くことができます。また、産休・育休などでお休みが長引いたり、必修研修が履修できなかった場合でも、研修修了までサポートします。これまでに12名が育児をしながら研修を修了しました。

今の医療を未来につなぐために。医療に対する「志」を胸に、日々、最前線で活躍する卒業生を紹介します。



産婦人科の特色は、女性医学では内科的な治療がメインとなる一方、腫瘍分野では薬物療法も外科的治療も行うなど、内科・外科系の幅広い医療を実践できることです。さらに妊娠・分娩という特殊な環境にも対応できることも特色だと思います。そして何といても一番の魅力は、新しい命の誕生に立ち会い、心から「おめでとう!」と言えること。元気な赤ちゃんとお母さんの幸せな顔を見ると、「産婦人科医になって本当に良かったー!」といつも実感します。



大学時代を振り返ると、勉強はもちろん、アルバイトに励んだり、海外旅行に行ったり、自由に楽しく過ごせた思い出ばかりで充実した毎日だったと思います。また卒業後は、愛知医科大学病院での後期臨床研修で数多くの症例や手術を担当するなど、多様な経験をさせていただきました。特に腹腔鏡手術については、研修中に修得した知識や技術が今でも活かされていると感じます。

今後、機会があれば「国境なき医師団」に参加して、海外の未知の医療も経験してみたいです。そして、ゆくゆくは地域特別卒の教員として愛知医科大学に戻り、後輩の育成にも取り組んでいければと思っています。医学部進学を希望している人の中には、勉強していても先が見えず不安な人もいると思いますが、笑っている未来を思い描いて努力を続けることができれば、きっと楽しい日々がやって来ます。将来お会いできる日を楽しみにしています!

※都市部から離れた農村や医療過疎地を巡回し、医師や看護師が基本的な診療や治療、健康教育などを行う移動型の医療施設。

[主な1日のスケジュール]

- 5:00 ● 起床
- 5:30 ● 朝ラン
30分から1時間、朝のランニング。
- 8:00 ● 自宅を出発
- 8:30 ● 出勤
- 8:45 ● 外来
- 12:30 ● 手術
手術は早い時は15:00頃まで、遅い時は17:00～18:00になることも。
- 17:15 ● 退勤
自分が執刀した場合は手術記録を作成するため、退勤が19:00頃になる場合もあります。それ以外の日には陸上の練習。
- 20:00 ● 夕食
- 22:00 ~ 0:00 ● 就寝

[休日の過ごし方]

地域赴任のおかげでたくさんの素敵な方々に会うことができ、趣味も増えました!大学時代にやっていた弓道を再開し、ピアノを習い始め、マラソンにも挑戦。さらに弓道の仲間と山に登ったり、陸上関係者に船の動かし方を教わったり、とても充実した日々を過ごしています。



愛知医科大学病院の医師・看護師とリレーに参加

Q 研修生活における悩みを相談する窓口はある?

A 診療中に不安なことがある場合には、先輩研修医やローテート先の指導医に気軽に相談できる環境です。当直中も専門科の医師が待機していることもあり、安心して取り組んでいただけます。また、センター長との面談が定期的に行われており、悩み事や将来の希望など親身に相談にのってもらうことができます。

Q 研修医ってどんな働き方?

A 休日は土・日・祝日及び年末年始です。年に1度、平日5日間(土日を含めると最大9連休)の休暇ルートがありますので、旅行などでリフレッシュすることもできます。また、当院では研修医1年目から救急外来の当直業務(4~5回/月)があります。当直明けは午前中で帰宅できるようにルール化されています。

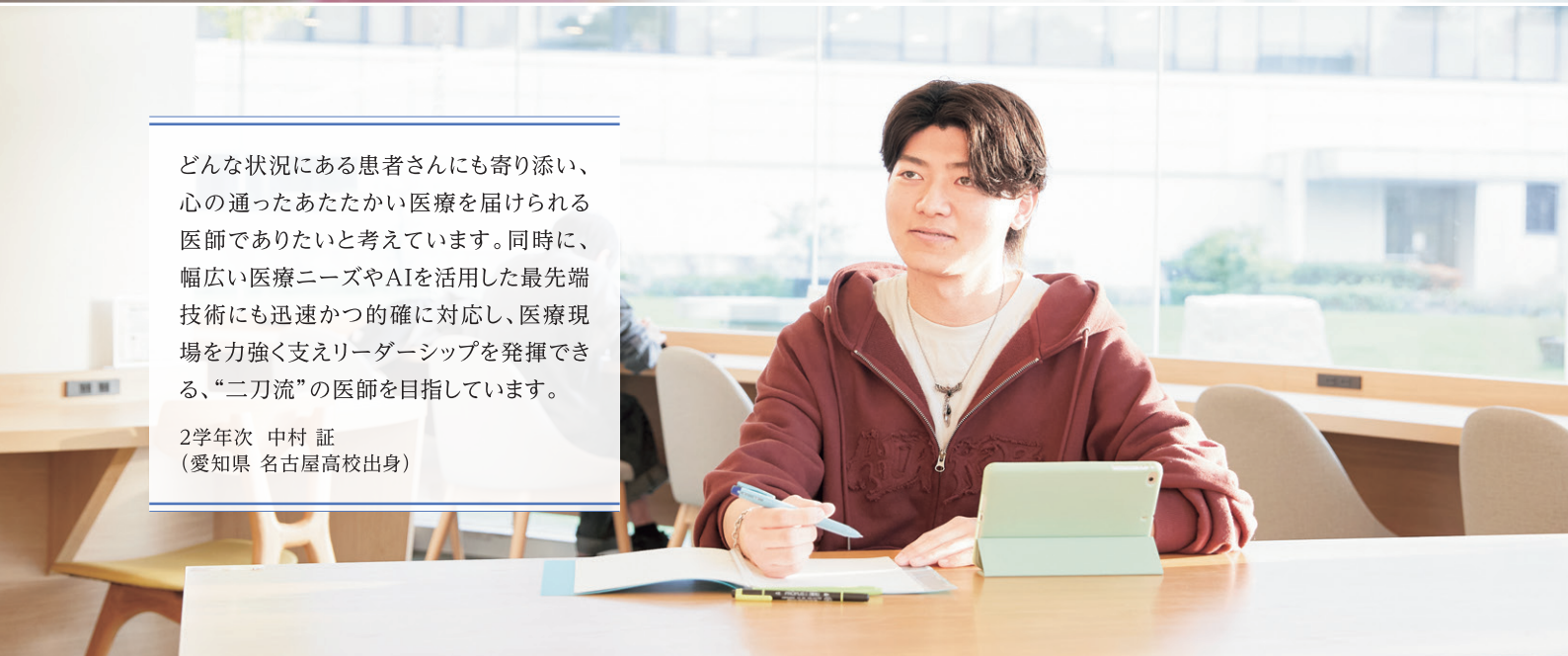
わたしたちの、医志

在学生からメッセージ



社会がどのように変化しても、臨床場において求められる医療は患者さんとその家族の心に寄り添う医療だと思います。そのような医療を実現するために、身体の痛みを取り除くことだけに焦点を当てるのではなく、患者さんを取り巻く精神的な不安や苦しみにも目を向け、一人ひとりに合った最善の医療を提供することができる医師になりたいと考えています。人の気持ちを汲み取った上で行動できるよう成長し、理想の医師像に近づいていきたいです。

1学年次 内山 祐希
(静岡県 静岡雙葉高校出身)



どんな状況にある患者さんにも寄り添い、心の通ったあたたかい医療を届けられる医師でありたいと考えています。同時に、幅広い医療ニーズやAIを活用した最先端技術にも迅速かつ的確に対応し、医療現場を力強く支えリーダーシップを発揮できる、“二刀流”の医師を目指しています。

2学年次 中村 証
(愛知県 名古屋高校出身)



私は単なる憶測のサポートではなく、患者さんと家族の背景に寄り添い、保険制度や福祉を活用しながら心身を支える医師を目指しています。ボランティア活動で培った「共感・傾聴」の姿勢を大切にし、多様なニーズに応えられる臨床医として、安心と信頼を届けられる医療を実現していきたいです。

3学年次 市川 忠実
(神奈川県 中央大学附属横浜高校出身)

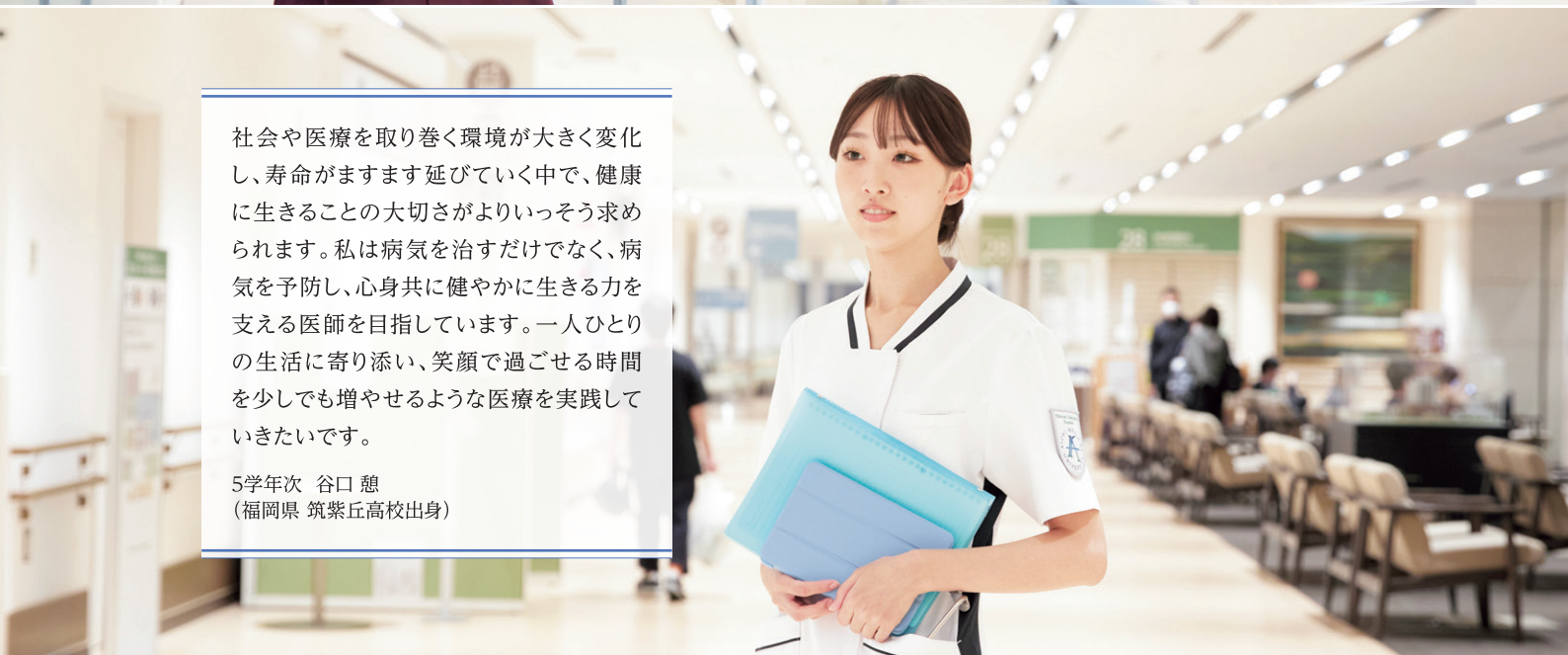
目指す医師像や目指す医療のあり方など、
在学生一人ひとりの医療に対する「志」を聞きました。



社会や医療の在り方が変化する中で、私は人の生き方や価値観に寄り添える医師を目指しています。病気を診るだけでなく、国や文化を越えて人を支える医療を実践したいと考えています。どんな環境でも誠実に学び、信頼される医師へと成長していきたいです。

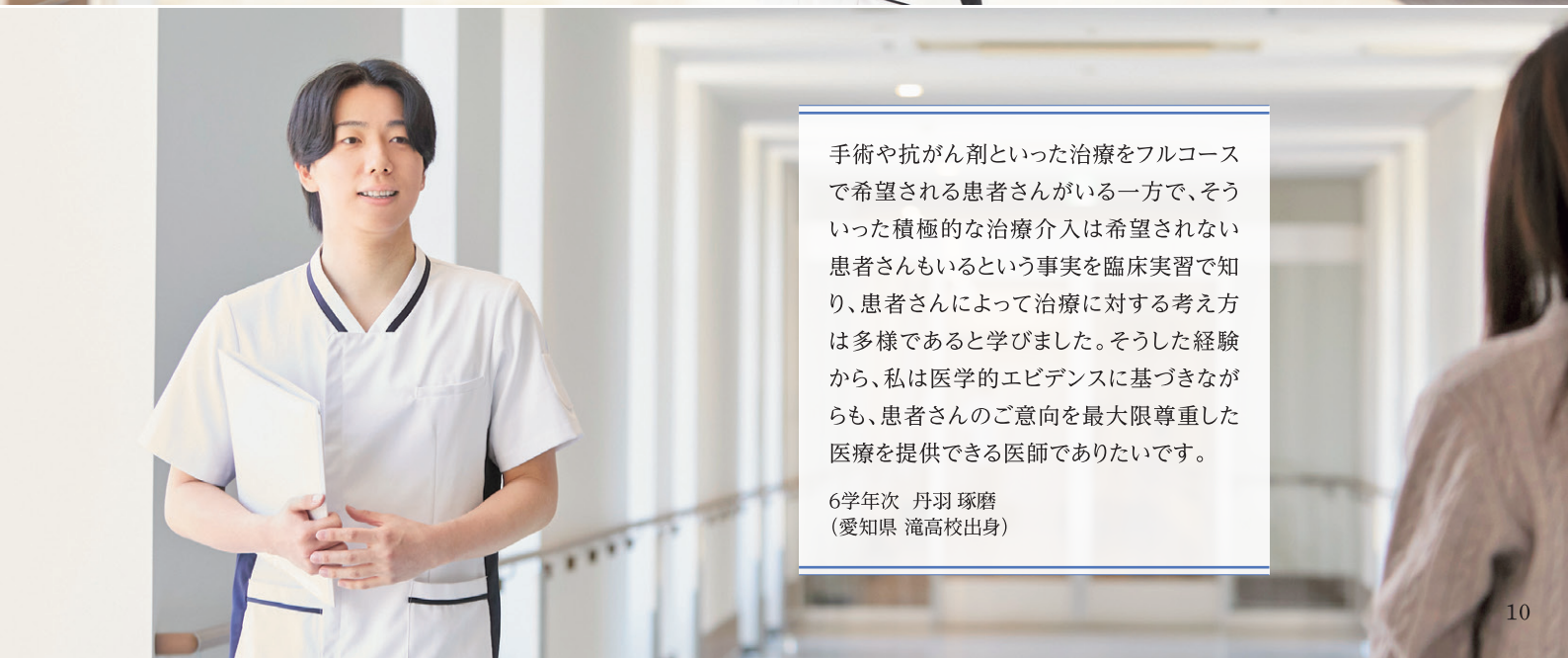
4学年次 武藤 那央
(石川県 金沢二水高校出身)

わたしたちの、医志「在学生」



社会や医療を取り巻く環境が大きく変化し、寿命がますます延びていく中で、健康に生きることの大切さがよりいっそう求められます。私は病気を治すだけでなく、病気を予防し、心身共に健やかに生きる力を支える医師を目指しています。一人ひとりの生活に寄り添い、笑顔で過ごせる時間を少しでも増やせるような医療を実践していきたいです。

5学年次 谷口 颯
(福岡県 筑紫丘高校出身)



手術や抗がん剤といった治療をフルコースで希望される患者さんがいる一方で、そういった積極的な治療介入は希望されない患者さんもあるという事実を臨床実習で知り、患者さんによって治療に対する考え方は多様であると学びました。そうした経験から、私は医学的エビデンスに基づきながらも、患者さんのご意向を最大限尊重した医療を提供できる医師でありたいです。

6学年次 丹羽 琢磨
(愛知県 滝高校出身)

愛知医科大学ならではの教育&活動

愛知医科大学では、国際バカロレア選抜をはじめ、本学独自の教育や活動に積極的に取り組んでいます。

全国の私立医科大学に先駆けて 「国際バカロレア選抜」を導入しています

IB選抜による
複数の卒業生を
輩出しています

本学医学部では、2017年度から全国の私立医科大学に先駆けて国際バカロレア (IB : International Baccalaureate) 資格を取得した学生を積極的に受け入れています。そこで、IB選抜によって入学した学生、卒業生に本学に入学した理由や学生生活などについて語ってもらいました。

IB生 TALK



阪上 あすか 2025年度卒業
(京都府 立命館宇治高校出身)

3学年次 斉藤 かや
(愛知県 名古屋国際学園高等部出身)

4学年次 矢尾 夏大
(静岡県 加藤学園暁秀高校出身)

斉藤／あすかさんがこの大学に入学しようと思った理由は何か？

阪上／当時、私が科目選択で選んだMath SL (Standard Level) を受け入れている国内の大学は本学を含めて3校だけと、受験できる大学が限られて。そんな中、本学のオープンキャンパスに参加した際、先生方が「私たちがサポートします」と言ってくれたのがとても印象的で、IBについて理解がある大学、ということで魅力を感じたことがきっかけだった。夏大は？

矢尾／早期からIB選抜を取り入れている大学なので、自分がIBで学んだことを評価してもらえると思ったからです。

斉藤／私の場合、すでに何名ものIB生の先輩がいらったので心強かったことと、オープンキャンパスで先生や学生の方々がとてもあたたかく接してくださったことにも魅力を感じました。

阪上／かやはインターナショナルスクール出身だけど、入学して大変だったことは？

斉藤／入学当初は日本語、特に敬語の使い方や漢字があまりできなくて苦労しました。でも同じ高校の先輩 (*2025年3月卒業) が、6年間過ごして卒業したという事実があったので、「私も弱音は吐けない、頑張ろう」という気持ちになりました。

阪上／私も先輩の存在は大きな励みだった。

矢尾／先輩の力は大きいね。

阪上／それに加えて先生や職員の方の支援も手厚くて、学

生の意欲やチャレンジを親身になってサポートしてもらえることは本学の特長であり、伝統だと思う。私がイギリスに留学した際も、学生課の方に書類の作成や手配についてきめ細かくサポートしていただき、本当に心強かったよ。

斉藤／私はそれがインターナショナルスクールの良さだと思っていましたが、本学も変わらないですね。

IB選抜によって入学を希望する人へメッセージ

斉藤／大学生活は大変なこともあります。同じ経験をしてきたIB生の先輩たちがいるので安心してください。2025年からは「バカロレア会」という交流の場もあり、すぐに仲間もできると思います。入学当初、先輩方が私をあたたかく迎え入れてくださったように、入学される後輩の皆さんをお迎えできる日を楽しみにしています！

矢尾／IBで培った多様な考え方や思考力は、本学でも複雑な医学を理解するのに役立ち、しかもIB生は人一倍楽しく勉強する能力が備わっていると思います。入学後も海外留学の機会が多く、在学中に国際交流を深められることも本学の魅力です！

阪上／大学では、一見するとIBでの勉強方法と異なることが多く、戸惑うことはありますが、IB生だからこそ批判的思考をもとに考察するなど、一歩踏み込んだ学びができると思います。また、そのような学生が必要とされています。入学後は、留学をはじめ、自分から掴みに行けば多くのことが可能になるはず。大変だとは思いますが、助けてくれる人が必ずこの大学にはいます！

クリニカル・
クラークシップBでは
海外での臨床実習も
選択できます
(詳しくはP37へ)



「英国大学医学部における臨床実習のための短期留学」は、卒前臨床実習教育の充実向上を図るため、日本の医学部生が英国の大学医学部で4週間の臨床実習を行うプログラムです。2025年3月には、本学で初めて阪上さん(2025年度卒業)が留学生として参加しました。「Glasgow Royal Infirmary と Queen Elizabeth University Hospital 内にある The Institute of Neurological Sciences の2つの病院の集中治療科で実習を行いました。4週間を通して、日本と英国の医療制度だけでなく、医療従事者としての働き方や生き方についても考える貴重な機会になりました。」(阪上さん)

高柳 志津子 2024年度卒業(愛知県 名古屋国際学園高等部出身)

沖縄県立中部病院での初期研修では、日々新しい学びに直面し、頭がパンクしそうなこともあります。教育的で充実した環境に恵まれています。沖縄では英語で診療することもたまにあり、力になった時の喜びと、さらに多くの人を助けるために知識を深めねばという焦りが、モチベーションになっています。休日は沖縄の海を眺めて心身をリセットしています。短いようで長かった充実した1年目でした。



外科ローテーション中に腹腔鏡の練習



小児科ローテーション中、患者さんと

夜間看護補助を行う学生アルバイト体制「愛Crew」が発足5年目を迎えました

2021年、愛知医科大学病院の夜間看護補助を行う学生アルバイト体制「愛Crew」がスタートし、5年目となる2025年には本学医学部・看護学部のほか、他大学も含めて約180人の学生が参加。発足当初は清掃、配膳、シーツ交換などの間接ケアが中心でしたが、現在では体位変換、車椅子での搬送業務などの直接ケアも増えてきました。今後も医師・看護師の人材育成の場として、実践技術を学べる環境づくりを進めていきます。



Message

3学年次 中野 真綾(愛知県 菊里高校出身)

私は患者さんへの食事の配膳や車椅子、歩行器の清拭のほか、バイタル測定の補助などを担当しました。看護学部の学生が多い環境で働くと、同じ学年でも学びの内容が大きく異なることに気づき、それによって互いの専門性を理解し、補い合う大切さを実感しました。また日常的に患者さんと関わることで、患者さんとの信頼関係を築くことの重要性も学べました。愛Crewでの経験は、今後、医師を目指す上で大きな財産になると感じています。



医学生としての意欲を高める初年次教育

時代が求める医療人を育成するための「プロフェッショナリズム1a・1b」をはじめ、1学年次から医学生としての自覚やモチベーションを高める講義や実習を積極的に導入しています。

プロフェッショナリズム

時代が求める医療人を育成するために、プロフェッショナリズム1a・1bを開講。「質の高い医療(保健・予防活動を含む)ができる医師」「コミュニケーション能力に優れた医師」「適切な意思決定のできる医師」「マネジメント能力に優れた医師」「地域社会のリーダーシップがとれる医師」の育成を目指しています。「プロフェッショナリズム」は、医師としての態度やモチベーションを高めるための科目として、4学年次まで段階的に開講しています。



医学教育センター 教授 早稲田 勝久

プロフェッショナリズム1a(医療人入門)

自らが将来どのような医学生・医師になりたいかをイメージすることで、初年次から学ぶ意欲を高める「プロフェッショナリズム1a(医療人入門)」を開講。多彩なプログラムを通して「(1)知的な運用能力としてのスタディスキル」、「(2)円滑な人間関係やコミュニケーションのためのソーシャルスキル」、「(3)科学的な理解にもとづく自己の心身の健康保持のためのライフスキル」といった3つのスキルを修得できるよう取り組んでいます。

プロフェッショナリズム1b

「プロフェッショナリズム1b」では、医師として必要となる多様な価値観や、診療に対する姿勢を理解すると共に、模擬患者さんへの医療面接、基本的な臨床の手法や知識を修得します。シミュレーションセンターでの実習も行うなど、より実践的に学べる機会を増やしました。

多職種連携演習

2018年度からは看護学部などと連携し、多職種との繋がりを学ぶIPE(Interprofessional Education)を導入しています。初年次から多職種連携について理解を深める授業も積極的に実施しています。

行動科学

医療人は単に病気をみるのではなく、「人を見ること」が大切です。「行動科学」では、心理学や神経科学、精神科学などの多様な分野を通して、人間の心や行動を科学的に理解する力を1学年次から身につけます。2学年次以降は、健康増進・疾病予防や、社会と医学の関係を考察するなど、社会医学的な観点から理解を深められるよう、より内容の充実を図っています。

1学年次から医療人・医療のあり方を学べる実習を順次実施しています。

1学年次

早期体験実習

1学年次から臨床の現場を体験できるよう、多様な実習を導入しています。

1a(シミュレーション実習)

グループ学修を通して、コミュニケーションやチーム活動、能動的学修の意義や基礎を理解します。早期から医療現場を体験するにあたり、様々な人、場面でのコミュニケーションについて考え、医学生としてふさわしいコミュニケーション方法を身につけます。

1b(看護体験実習)

病院は患者さんを中心にして、多数の医療スタッフが共同で仕事をしていることを理解し、多職種連携の病棟業務を体験することで、コミュニケーションの重要性、医師としての態度、今後必要な医学的知識・技能について確認します。



1c(臨床科見学実習)

臨床診療科・臨床医の指導のもとに医療を行う上での連携の理解を深めます。臨床医の患者さんへの対応や診断、検査などを体験し、早期に医師としての思考・人間性・倫理観を身につける契機とします。

2学年次

外来案内実習

初診や再診時に診療がどのように行われ、どのような受診に関わる手続きが行われているのかを、医療者ではなく患者さんの視点から学びます。将来、医師になった時に、患者さんの気持ちに寄り添えるよう、受診時の患者さんの思いについて学びます。



チーム医療実習

チーム医療の一員として参加し、医師や他職種の業務を体験します。保健・医療・福祉・介護分野など患者さんに関わるすべての人々の役割を理解し、相互の尊重のもとに適切な行動をとることの重要性を学びます。

地域社会医学実習

障がい者や高齢者の介護や救急医療の現場、働く人々の実態を体験することで、医師になる者としての自覚を高めると共に、様々な人々の健康に関する悩みや苦しみを知り、地域社会における疾病予防、健康増進における医師の役割を理解します。

3学年次

地域医療早期体験実習

大学病院以外の一般の地域医療機関において、どのような医療が実践されているのか、医師及び医療スタッフの業務を体験します。臨床講義が続く時期に、地域医療の現場に出ることで学修意欲を高め、次年度のクリニカル・クラークシップへの準備とすることを目的としています。

Message

将来の可能性のために、
「余白」をたくさん作りましょう！

衛生学講座 教授 鈴木 孝太

皆さんは、「働かない働きアリ」の話を知っていますか？働きアリの中には、常に働いているわけではない個体がありますが、それが集団の安定や次の世代を支える仕組みになっています。「タイパ」が大切にされ、今すぐ役に立つことを追い求める風潮が強い時代ですが、予想できない未来で何かとつながる「余白」を、学生時代にたくさん持つことが大切です。本学部では、広く社会を知ること、皆さんの「余白」を増やす初年次教育を行っています。これらの学びが、皆さんの「今」だけではなく「未来」につながることを願っています。





実践力を養う臨床教育を重視

4学年次の10月から「臨床実習生(医学)」(英語表記: Clinical Clerkship Student)として診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップA)を開始。

実際の医療の現場で、知識・技能・プロフェッショナリズムを修得します。

臨床実習生(医学)

(Clinical Clerkship Student)

4学年次の8～9月に医学生共用試験CBT・臨床実習前OSCEを実施。合格すると「臨床実習生(医学)」として公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構から認定されます。その後、診療チームの一員として患者さんやご家族と直接触れ合いながら臨床実習を行います。



診療参加型臨床実習

(クリニカル・クラークシップA)

4学年次10月から診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップA〈36週〉)を実施します。全診療科で満遍なく臨床実習を行い、広い領域の基盤的経験を養います。

本学部では「臨床実習支援システム(F.CESS)」を導入。各自が実習で行った手技などをシステム上に記録することで、いつでも実習内容を振り返り、自己評価できると共に、教員からの評価やコメントもリアルタイムに確認できるなど、より質の高い実習環境を実現しています。

診療参加型臨床実習

(クリニカル・クラークシップB)

5学年次9月からは、クリニカル・クラークシップB〈36週〉を実施。各4週間9クール

の臨床実習を重要な診療科で行い、より深い知識と高い技能修得を目指します。

実習後は臨床実習後OSCEを実施し、実習を通して身につけた知識や技能を評価・確認しています。

学外実習

クリニカル・クラークシップBでは、本学の協定病院である学外44病院での実習が可能です。協定病院には、地域に密着した中小病院も含まれるなど、実習先のより充実を図っています。また、アメリカ・南イリノイ大学(SIU)医学部やタイ・コンケン大学(KKU)医学部、ポーランド・ウッチ医科大学(MUL)医学部など、学術国際交流協定を締結している大学での臨床実習も可能で、実習単位を認定しています。多様な臨床現場を経験することで、医療人としての視野を広げられる機会を増やします。

より充実した臨床教育を行うための準備教育や施設が整っています。

シミュレーションセンター

臨床技能の修得及び向上を目的に、医学生ばかりでなく看護学生や研修医、スキルアップを目指す医師や看護師も利用できるシミュレーションセンターを開設。高機能の人体シミュレーターを用いた各種トレーニングや基本手技トレーニングなど、実践的な教育の場として低学年次から高学年次まで積極的に活用しています。よりいっそうの充実を図るため、これまでの470㎡から700㎡へとスペースも拡大しました。

さらに、全国の医科大学に先駆けて最新の映像収録・配信システムを導入しました。L字型のプロジェクター投影面は、スクリーン仕様で全5面投影可能。授業の様子をビデオ撮影し、収録したアーカイブをeラーニング教材として利用するほか、zoomで映像配信を行うなど、多様なスタイルで活用しています。ほかにも、より高機能のシミュレーターをはじめ各種機器を新たに導入するなど、臨床教育のための充実した環境を整えています。



コミュニケーション演習

主要な症候の診察に必要な知識を学修し、その内容を活かした模擬診察を実施。臨床の現場で求められる知識やコミュニケーション方法などを学びます。

臨床実習入門

臨床実習を行うにあたって、診察の進め方やカルテの記載、患者さんへの説明など、臨床医学の基幹となるための診療技能を身につけます。

基本手技・医療面接実習

診療参加型臨床実習の基礎となる、診療の基本的技術、態度を修得。シミュレーションセンターの充実により、さらに中身の濃い内容を実現しています。

Message

患者さんの気持ちを理解できる 良医の育成を目指しています

教務部長 放射線医学講座 教授 鈴木 耕次郎

本学部は、現場に即した実践的な教育を行っていることが大きな特色です。診療参加型実習では、専門的な知識や技術の修得はもちろん、患者さんやご家族の思いに間近に接することで、「聞く力」を育成していきたいと考えています。また、学生の皆さんが自信を持って現場に臨めるよう、シミュレーションセンターを活用した各種トレーニングにも力を入れています。臨床現場での学びや経験を通して、「患者さんにしっかり寄り添える医師」を目指してほしいと思っています。



充実の学生指導・支援体制

一人ひとりが心身共に健康で快適な学生生活を過ごせるよう、きめ細かな学生指導体制や多様な相談窓口を設けています。

学生指導体制

本学部では、学生支援を円滑に行うための「指導講座制度」を導入しています。1学年次については、授業を担当する基礎科学部門の教員が指導教員となり約10名の学生を受け持ちます。指導教員は、出席状況や学業成績についての個別相談など、学生生活に関する指導や助言を行います。2学年次に進級する段階で、学生の希望をもとに基礎医学部門及び臨床医学部門の講座に配置され、各講座の教員が引き続き指導・助言を行います。それによってカリキュラム外での研究や早期の臨床体験につながる機会を得ることができます。また学会発表や論文執筆など、学生による研究活動を進めることも可能になります。さらに2学年次から6学年次までの学生が配置されているため、同じ分野に関心を持つ学生の学年を越えた交流も図れます。

研究活動奨励制度

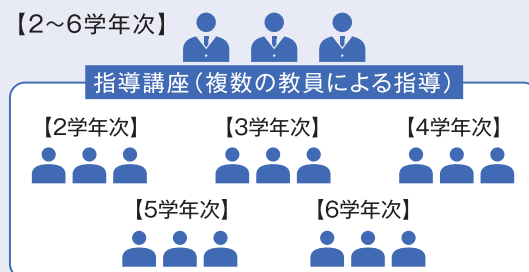
本学では、学生が学会等で研究活動の成果を発表する際、会場までの交通費や宿泊費を大学から支給しています。これは「学生の研究活動を奨励する」本学の特徴的な制度です。また、研究発表の内容が優秀であると認められた、あるいは英文による学術論文を発表したなどの優れた研究業績を挙げた場合は、大学から表彰されます。

指導講座制度

【1学年次】



【2～6学年次】



早期の臨床体験



カンファレンスに参加



学生による研究活動



学会発表



学生Message

小児科医を目指す 大きなきっかけになりました

4学年次 藤田 萌寧 (三重県 伊勢高校出身)

1学年次の後期、私の指導教員の方が企画してくださった愛知医科大学病院での「小児科見学」に参加しました。実際の診療の様子や、患者さんとご家族へのあたたかい対応など、現場の先生方が詳しく教えてくださったことで、小児科の魅力を強く感じました。それを機に「小児科についてもっと知りたい」と思うようになり、2学年次からの指導講座では小児科を選択。それまで私は進みたい科について特に決めていなかったのですが、その経験が進路を決める大きなきっかけになりました。



学生支援体制

学生課



学生課では、学生の健康管理、課外活動支援、証明書発行、各種登録手続、奨学金申請支援など安定した学生生活を送ることができるよう幅広い支援を行っています。お気軽にご相談ください。

奨学金について
教えてほしい

医大祭の企画に
関わりたい

部活動中にケガを
したのですが…

部活動をもっと
充実させたい

……など

学生相談室

長い学生生活の中で悩みや課題が生じた時は、気軽に学生相談室を利用してください。「こんなこと恥ずかしくて」「どうせ他人に話してもしょうがない」と、ためらう人もいるかもしれませんが、言葉に出して人に話すことが役立つ場合もあります。本学では、臨床心理士・公認心理師の資格を持ったスクールカウンセラーが相談に応じています。さらに、学びや進路に関する悩みや質問に応じる相談員を増員するなど、充実したサポート体制できめ細かく対応しています。



対人関係(友人、先輩、後輩、恋愛など)で悩んでいる

話するのに苦勞したり、気分の浮き沈みがある

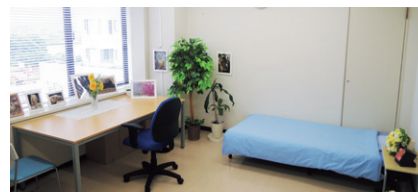
学業のことや将来の進路について相談がある

……など



保健管理センター

本学には「保健管理センター」を設置しており、専門スタッフ(看護師)を配置しています。健康相談・指導や軽症者に対する応急処置、受診指導などを行っています。



意見箱「学生の声」

一人ひとりが快適な学生生活を過ごせる大学にしていくなため、キャンパス内に意見箱「学生の声」を設置しています。学生の皆さんの意見や悩みなどを大学に伝え、さらにそうした「声」を掲示板などでフィードバックする体制の充実も図っています。また、パソコンやスマートフォンから投書できるWEB版も開設しています。



教員Message

一人ひとりが主体的に 充実した学生生活を過ごせるように

学生部長・学生相談室長 心理学 教授 宮本 淳

本学部では「指導講座制度」によって、教員と学生、さらには学年を越えた学生間の交流を深め、研究活動や学会発表など、目指す医師像を考える上で可能性が広がる体制を整えています。また本学部の「学生生活委員会」では、教職員ばかりでなく、今年度からは学生も構成員として参加。学生の意見を取り入れ、大学をより充実させていく体制づくりも積極的に進めています。一人ひとりが主体的に充実した学生生活を送れるよう、今後も皆さんの声を制度や施設に反映させ、しっかりバックアップしていきます。



高度なりハビリ施設として 運用される「プロリハ」

- 超高度リハ(患者さんの全身を診ることで状態に合わせた質の高いリハビリ医療)を提供する次世代型リハビリテーション診療拠点

- 「次世代型Whole Bodyモニタリングシステム」を導入

※プロリハは「適切な医学的管理下で、医学的知識と技術を持つスタッフが提供する積極的なリハビリテーション医療」であるPhysiatrist and Registered therapist Operating Rehabilitationの略称



大学病院の特色

愛知医科大学病院は、最新鋭の医療機器を導入し、

36の診療科を有する、

ベッド数900床の中部地区屈指の大学病院として、

総合的かつ高度な医療を提供しています。

高度救命救急センターには、愛知県内でいち早くドクターヘリを配備。

救急医療専門の医師や看護師が迅速に出動できる体制を整えています。

大学病院は医学生にとって診察・手術の見学や

症例検討などを行う大切な学修の場であり、

充実した教育環境を実現しています。

さらに大学卒業後の臨床研修では卒後臨床研修センターが核となり、

研修医の育成・教育を、病院スタッフが総合的にサポートしています。



大学病院の
特色について
詳しくは →



より充実した教育環境を実現しています

多臓器疾患に対応できる、
総合的な診療力を育成

一次から三次救急まで、
幅広い診断能力を修得

高い効果を生み出す、
教育用電子カルテ

愛知医科大学病院での実習

愛知医科大学病院での実習では、現場で患者さんと向き合い、高度な先端医療機器を用いた検査から実際の治療、手術手技まで、指導医や専門医、多数のスタッフなどから直接指導を受けて実習を行います。また、カンファレンスに参加し、グループ内で発表する機会もあるので、診療チームの一員としてこれまで学んできた知識に加え、思考法・技能・態度などをしっかりと身につけることができます。



救急医療や災害医療に積極的に取り組んでいます

愛知医科大学病院では、特定機能病院として救急医療や災害医療にも幅広く対応しています。

ドクターヘリ

愛知県内でいち早くドクターヘリを配備

2002年から愛知医科大学病院を基地病院としたドクターヘリシステムが国内4番目、愛知県では初の事業としてスタート。救急医療対応（ER）型ヘリコプターが常時待機し、主に消防機関からの要請を受けて救急医療専門の医師・看護師が迅速に出動できる体制を整えています。

現在の活動範囲は、愛知医科大学病院から半径70km圏内が中心ですが、大規模災害発生時にはヘリコプターの機動性をより発揮できるよう、隣接各県（岐阜・三重・静岡・長野）のドクターヘリとの連携体制も構築しています。



高度救命救急センター



EICU（救急集中治療室）

24時間体制で総合的かつ高度な医療を提供

1979年、高度救命救急センターを他の医科大学・医学部に先駆けて設置しました。24時間365日の受け入れ体制を構築し、地域の重症患者などに対して救急医療を提供しています。1996年には、中部地区で初めて「指肢切断」「急性中毒」「広範囲熱傷」など特定の救急疾患に対して専門的に治療できる高度救命救急センターとして認定され、その後、三次救急専用の救急蘇生外傷治療室及び画像診断装置の増設を行っています。さらに2023年には、愛知県から重症外傷センターに指定されました。

災害医療研究センター

災害医療研究の拠点化を目指して

南海トラフ地震や首都直下地震が切迫していると言われる中、災害医療体制の充実・強化が急務となっています。災害医療研究センターでは、災害医療に関する教育（普及活動・研修、訓練の実施）や研究を行うと共に、大規模災害時の被害を軽減するため、国・愛知県のなどの行政機関をはじめ、近隣市町村との官学連携を通じて、啓発活動の推進や研修機会の提供などに取り組んでいます。



防災リーダー養成研修

愛知医科大学

メディカルセンター

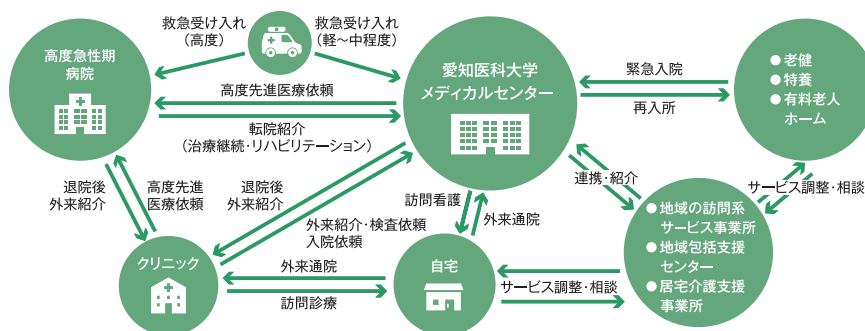
地域多機能病院として
地域に密着した医療を提供します



2021年4月、岡崎市北部に愛知医科大学メディカルセンターを開設しました。本センターでは、岡崎市、豊田市をはじめとする周辺の医療機関と共に、二次救急から慢性期に至るまでの幅広い患者さんを受け入れています。急性期一般病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養型病棟に加え、腎臓病センター、訪問看護ステーション、通所リハビリテーションなど多くの機能を持つ「地域多機能病院」として様々な役割を果たし、地域の信頼に応える中核病院を目指しています。

地域と共に生きる中核病院として

～近隣医療機関と連携し自分らしい生活を医療面から支えます～



愛知医科大学

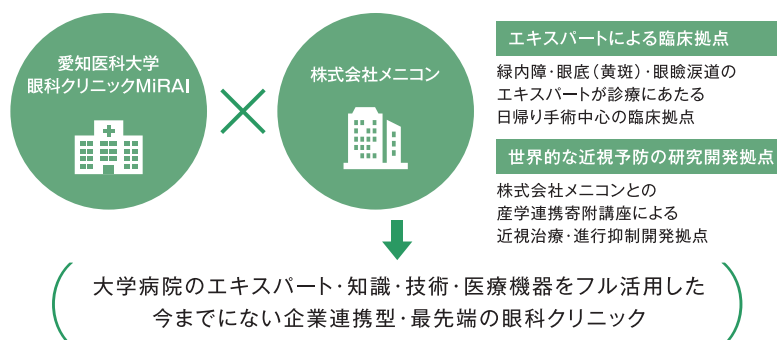
眼科クリニックMiRAI

眼科先端医療の臨床・研究拠点を目指して

開設から38年を迎えた名古屋市東区の愛知医科大学メディカルクリニックは、総合的な診療体制などの抜本的な見直しを行い、2022年7月、株式会社メニコンとの産学連携寄附講座(近視進行抑制)と眼科日帰り手術ラボの設置を中心とした、時代が求める治療・開発・臨床研究の拠点として生まれ変わり着実に歩みを進めています。

愛知医科大学 眼科クリニックMiRAI コンセプト

【基本方針】眼科先端医療の提供



所在地
名古屋市東区東桜二丁目12番1号

アクセス(地下鉄ご利用の場合)
桜通線「高岳駅」4番出口より徒歩約3分
東山線「新栄町駅」1番出口より徒歩約6分





総合学術情報センター

様々な学術情報を利用できる「知の拠点」として、さらには学生が「自ら学修し、自ら気づき、自ら成長する」拠点としても整備

図書館では、エントランスの吹き抜けを象徴とする開放的な空間設計を基本とし、学修に集中できる個人席、豊かな自然を眺められる座席、グループ学修室など、快適な環境を備えています。

貸出パソコンや自身の端末を大学の無線LANに接続することにより、どの席からでも電子ブック・電子ジャーナル・情報検索データベースにアクセスすることができます。

図書館利用ガイダンス、各種利用講習会を通じて、学生の情報リテラシーの養成にも精力的に取り組んでいます。また、土日・祝日開館、一般市民への施設開放、近隣公共図書館との連携による健康支援事業(めりーらい

ん)の推進など、様々な学修支援を行っています。卒業後も生涯にわたり、在学時とほぼ同じ条件で利用することができます。

マルチメディア教室では、1人1台の端末(パソコン)を設置し、どの席からでも授業で使われる動画や画像の資料が見やすくなるよう、前方に大型スクリーン(130インチ)、学生卓に小型モニター(17インチ)をそれぞれ設置しています。この教室のほかにも、無線LANによるレイアウト自在の少人数セミナー室や、常時解放のオープン利用室では、グループ学修やレポート作成などを行うことができ、用途に応じていつでも自由に利用できます。

ICTを活用し、eポートフォリオの作成、授業で使用した講義資料などがインターネットを使って、復習できるeラーニングシステムを提供しています。また、レポート作成に使われる文書作成ソフト、医療現場で使われる医療英語(英単語・イディオム)を修得する英語学習ソフト、医学や看護学の統計解析に欠かせない専用処理ソフトなど、授業や自主学習、問題解決型学修(少人数で課題を達成していく学修手法)で活用できるソフトウェアを数多く用意しています。様々なご質問にはセンタースタッフが丁寧にお応えし、サポートします。

本館セミナー室

4・5学年次専用のセミナー室も確保しています

大学本館2階・3階のセミナー室は20室あります。主に3学年次までの学生が使用することができ、グループでのレポート作成やテスト前のグループ学修などのために使用されています。各室の収容人数は10名程度です。使用できる時間は8時30分~22時で、授業の空き時間や休日にも利用できる自習室の存在は貴重です。

大学本館7階は、医学部5学年次生が使用

するセミナー室が2室(グループ学修室:70席、個人ブース室:60席)及び、医学部4学年次生が使用するセミナー室が1室(グループ学修室:36席、個人ブース:14席)が整備されています。3部屋で計180名を収容するこの広大な学修スペースでは、主に臨床実習や講義終了後のグループ学修やレポート作成などに使用されています。



本学では各教室、セミナー室にWi-Fiを整備し、授業支援システムAIDLE-KというWEBを使って授業を行うeラーニングを実施しています。講義資料の閲覧、講義の予習や復習、アンケートの回収など幅広く利用されています。学生はパソコン、タブレットを用いて、この環境を積極的に活用しています。



医心館

国試に向けた 学修環境が充実しています

大学本館に隣接する、グループ学修及び個人学修のいずれにも対応した学修環境を持つ「医心館」は、主に医学部6学年次生及び看護学部4学年次生が国家試験に向けてお互いにディスカッションできるグループ学修の場所として利用可能な41室のセミナー室があります。

セミナー室は、6学年次の4月から医師国家試験が終了するまでの期間、毎日7時から24時まで使用することができます。



学生ホール

「ラーニングコモンズ」 として開放

大学本館3階の学生ホールを「ラーニングコモンズ」として開放しています。明るく開放的な空間にWi-Fiや、モバイル端末用のコンセントを各机に配置するなど、企画段階から学生の希望や意見が取り入れられており、自習からグループ学修まで幅広いニーズに対応した空間となっています。



レストランオレンジ

自習やグループ学修の 場としても活用できます

本館1階にあるガラス張りの開放的な「レストランオレンジ」は、2023年4月にリニューアルオープン。新たに個別ブースも配し、営業時間外も平日の朝は7時から、夜は21時まで自習やグループ学修の場として利用できます。



学修スタイルに合わせて 最適な施設を選べます

一人で集中して
勉強したい

- 図書館・オープン利用室
(総合学術情報センター)
- 個人ブース(5・6学年次)

飲食しながら
仲間と一緒に
勉強したい

- レストランオレンジ



グループで
ディスカッション
しながら勉強したい

- 少人数セミナー室・オープン利用室
(総合学術情報センター)
- 本館セミナー室
- ラーニングコモンズ

国試に向けて
じっくり
取り組みたい

- 医心館(6学年次)

時代が求める良医の育成に取り組んでいます

医学部の教育理念

本学医学部の教育理念は、医学知識や技術の修得はもとより、医学を志す者として教養豊かな人間性を涵養することです。

すなわち、建学の精神及び学是に基づいた科学的・倫理的判断力、社会貢献の自覚を養い、情緒と品格を兼ね備えた医療人を育成することです。

カリキュラム・ポリシー

卒業認定・学位授与の方針に基づき、学修内容が真の効果的な学びとなるように、一般教養、基礎科学、基礎医学、臨床医学を体系的・統合的に編成し、継続的・らせん状の教育プログラムを実施します。

各課程は次の方針で実施します。

- 前期課程では、医学の基礎となる知識と概念を学ぶ機会を提供し、疾病の基礎となる生理的、病理的現象の理解を深めることを目指します。
- 中期課程では、生物学的、社会医学的観点から疾病を統合的に学ぶ機会を提供し、基本的診療技能を修得させて臨床実習を開始します。
- 後期課程では、臨床実習で実践的な医学知識・診療技能及び態度を修得させます。

教育目標

本学医学部は、ヒューマニズムに徹し、医学・医療の社会的使命を進んで果たす医師を養成することを教育目標としています。

1. 将来の医学・医療の様々な分野に共通して必要な基本的知識、技能、態度を身につけ、生涯にわたる学修の基礎をつくります。
2. 自主性・創造性を身につけ、問題解決能力を高めます。そして、医学の進歩と、医療をめぐる社会情勢の変化に対応できる能力を涵養します。
3. 医療を予防・診断・治療から社会復帰までの包括的なものとして捉え、自然科学のみならず、その背景にある心理的・社会的諸問題をも含めて総合的に対応できる能力を涵養します。

カリキュラムの特徴

- ① 基礎科学教育の再編・充実にて自律的学修の能力を修得すると共に、基礎医学、臨床医学の理解の確固たる基盤を作る。

- ② 1学年次から基礎医学を学び、学修意欲の向上を目指す。

- ③ プロフェッショナリズム、行動科学教育、多職種連携教育・倫理教育を実施し、医療人としての基本的価値観、資質、能力を継続的に修得する。

- ④ 1学年次から早期体験実習・社会医学実習・地域医療実習を学外施設で行い、地域社会への貢献の自覚を深める。

- ⑤ 基礎・社会・臨床医学の専門科目においては、垂直・水平統合を推進し、医学、医療への総合的視点を早期から涵養する。

- ⑥ 1学年次後学期から4学年次前学期の6限目に選択講座を開講し、学生の個々のニーズに合わせた知識、技能を修得する。

- ⑦ 1～4学年次の学業不振者に対してグループ学修を用いた継続的な学修支援を行う。

- ⑧ 社会医学、社会医学実習の充実により、社会と医療の関係の理解、社会の中での医療人としての役割の自覚を深める。

- ⑨ 臨床講義では、アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、自己学修の習慣を維持するとともに、科目毎に試験を実施し、医学知識の確実な定着を図る。

- ⑩ 80週（クリニカル・クラークシップ72週、臨床前実習8週）の臨床実習にて実践力のある良き臨床医の基盤を作る。

- ⑪ 臨床実習中の臨床現場における学習者評価（workplace based assessment）を積極的に取り入れ、診療参加型臨床実習の充実を図る。

- ⑫ 臨床実習期間中に定期的に総合試験を実施して知識の定着を図り、臨床実習での学びを深める。

ディプロマ・ポリシー

（卒業認定・学位授与の方針）

本学医学部では、建学の精神に基づき、新時代の医学知識と技術を身につけて科学的・倫理的判断能力及び情緒と品格を兼ね備えた教養豊かな人間性を培い、地域社会に奉仕できる医師の養成を目指します。学修成果を多面的・複合的に評価し、卒業時能力達成基準（コンピテンス、コンピテンシー）に定める項目を身につけた学生に卒業を認定し、学士（医学）の学位を授与します。



愛知医科大学の6年間

良医になるための
学びのステップ

	1 学年次	2 学年次	3 学年次	
基礎科学／ 基礎医学系科目	●プロフェッショナリズム1a ●プロフェッショナリズム1b ●アカデミックリテラシー ●ICTリテラシー ●医療のための情報学 ●医用心理学 ●行動科学1a ●行動科学1b ●行動科学1c ●統計学1 ●スポーツ科学 ●医用物理学 ●医用化学 ●医用生物学 ●分子発生学 ●基礎科学実習 ●PBL ●医学英語1a ●医学英語1b ●初年次医科学セミナー ●自然科学演習 ●生命倫理1 ●解剖学1a ●解剖学実習1a ●解剖学1b ●解剖学実習1b	●生理学1 ●生化学1 ●基礎科学・基礎医学統合演習 ●Preparation for the USMLE ●選択講座1 - 第二外国語 ●ポルトガル語 ●中国語 ●韓国語 ●ドイツ語 - リベラルアーツa ●数学 ●宇宙論 ●英米文学 ●学習科学 - リベラルアーツb ●哲学と医療 ●経済と医療 ●文学と医療 ●宗教と医療	●プロフェッショナリズム2 ●行動科学2 ●統計学2 ●医学英語2 ●生命倫理2 ●医学研究セミナー ●解剖学実習2 ●生理学2 ●生理学実習 ●生化学2 ●生化学実習 ●薬理学 ●薬理学実習 ●病理学 ●病理学実習 ●統合講義（腫瘍学） ●統合講義（炎症学） ●微生物学（細菌分野） ●微生物学（ウイルス・真菌分野） ●免疫学 ●免疫学実習 ●寄生虫学 ●選択講座2	●プロフェッショナリズム3 ●行動科学3 ●医学英語3 ●生命倫理3 ●衛生学 ●公衆衛生学 ●公衆衛生学実習 ●法医学 ●EBM実習 ●選択講座3
	多職種連携演習			
臨床医学系科目		●検査医学	●消化器学 ●循環器学 ●呼吸器・アレルギー学 ●内分泌・代謝・糖尿病学 ●神経内科学 ●腎・膠原病学 ●血液・造血器学 ●精神科学 ●小児科学 ●脳神経外科学 ●整形外科学 ●泌尿器科学 ●産科学 ●婦人科学 ●放射線医学 ●リハビリテーション医学 ●疼痛医療学 ●東洋医学 ●高齢医学 ●症候学 ●災害医療	
学内・学外実習	●早期体験実習1a（シミュレーション実習） ●早期体験実習1b（看護体験実習） ●早期体験実習1c（臨床科見学実習） ●コミュニケーション演習1	●地域社会医学実習 ●チーム医療実習 ●外来案内実習 ●コミュニケーション演習2	●地域医療早期体験実習 ●コミュニケーション演習3	
総合試験など		●総合試験2		



新カリキュラムと共用試験

医学部では、医学教育モデル・コア・カリキュラムに対応したカリキュラムを採用。医療人となるための基礎を学ぶプロフェッショナリズム、自主学習法の体得、問題解決能力の養成を目指したアクティブ・ラーニングを開講。初年次から基礎医学を取り入れ、臨床実習は4・5・6学年次に実施。また、診療科を選択したり、学外の病院での臨床実習も取り入れて診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)を充実させています。臨床実習を受けるためには、臨床実習開始前に全国の医科大学・大学医学部の学生を対象に行われる共用試験に合格する必要があります。共用試験には、コンピュータを用いた知識・問題解決能力を評価する客観試験(CBT)と態度・診察技能を評価する客観的臨床能力試験(臨床実習前OSCE)があり、4学年次に実施しています。

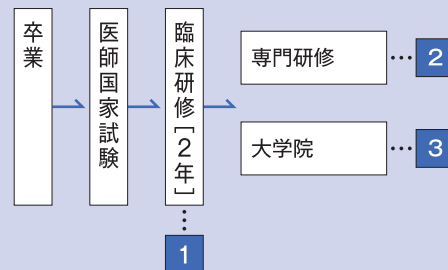
医師という職業は、生涯にわたって自ら学ぶ姿勢が求められます。自ら問題を発見して自ら問題を解決する能力を高めるため、少人数のグループに分かれて、与えられた課題について調査・討論を重ねるチュートリアル教育を取り入れています。また、信頼される医師になるには、何よりも患者さんや医療スタッフと良好なコミュニケーションを築く能力が必要です。そのため、1学年次からコミュニケーション能力を高める教育を行っています。

4 学年次	5 学年次	6 学年次
●プロフェッショナリズム4 ●行動科学4 ●医学英語4 ●医療と倫理 ●選択講座4		
●皮膚科学・形成外科学 ●眼科学 ●耳鼻咽喉科・頭頸部外科学（口腔外科学） ●麻酔科学 ●救急医学 ●臨床感染症学 ●臨床腫瘍学 ●医療安全 ●臨床遺伝学 ●臨床推論 ●地域医療総合医学 ●基本手技・医療面接実習 ●臨床実習入門		
クリニカル・クラークシップA		クリニカル・クラークシップB
●共用試験（CBT・臨床実習前OSCE） ●総合試験4C	●総合試験5A、5B、5C	●共用試験（臨床実習後OSCE） ●総合試験6A、6B

卒業時コンピテンシス・コンピテンシー

卒業後の進路

医師国家試験合格後は、原則として2年間の臨床研修を行います。その後は、専門研修、大学院進学などの進路を選択できます。



1 臨床研修

愛知医科大学病院では一般プログラム、産婦人科研修プログラム、総合小児科医育成プログラムの3つから選択でき、いずれのプログラムも4～20週の学外研修を行うことができます。

当院は、大学病院としての高度な専門医療ばかりでなく、名古屋市北東部に隣接する市町村の地域医療から広域にわたる三次救急をも担っているため、あらゆる分野の一次、二次救急症例を始め、一例報告に値する貴重な症例まで幅広く経験できる環境が整っています。当直においては、初期研修医・専修医の体制に加え、常駐する上級医によるバックアップを整備。内科・外科の当直医や救命救急科医師、病棟担当医、待機医と緊密に連携しながら、「屋根瓦式」の支援体制の中で、安心して診療に取り組むことができます。卒後臨床研修センターではセンター長及び各診療科教員を始めスタッフ一同がメンターの役割を担っており、安心・安全な研修のみならず、生活面も含めたキャリア形成支援を行っています。

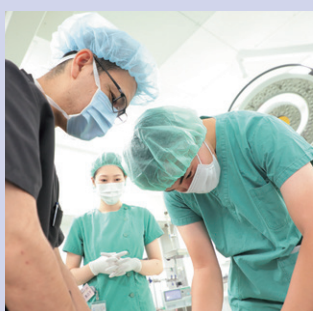
2 専門研修

日本専門医機構により、内科や外科を始めとする19診療科が基本診療領域に位置付けられました。当院も専門医資格の取得を前提とした専門研修プログラムを設置し、専門医制度に対応しています。さらに次の段階として、専門医取得者はSubspecialtyの学会専門認定を目指すことも可能です。

また、臨床医としての経験を積みながら大学院コースを履修し、博士の学位を取得する「社会人大学院」も設定しています。

3 大学院

愛知医科大学 大学院医学研究科→P36



卒業時コンピテンシス

1. プロフェッショナリズム

医師としての価値観・態度・姿勢
生涯学習・自己啓発・自己管理
チーム医療・医療安全

2. コミュニケーション

3. 医学知識と科学的探究心

4. 診療技能

5. 地域社会への貢献

愛知医科大学は女性医師が働きやすい環境づくりに取り組んでいます

本学は、女性医師が長く安心して働ける職場環境を提供しています。取り組みの一つとして、敷地内に保育所を設置しており、また、臨床系女性医師のための特別短時間勤務制度を導入するなど、出産や育児などのライフイベントに応じた働き方が可能です。さらに、「あいち女性輝きカンパニー」に認証されるなど、働きやすさへの取り組みが評価されており、育児とキャリアの両立を支援しています。

1学年次は、人文・社会科学、自然科学、外国語などの科目を学び、幅広い教養を身につけると共に、医学を学ぶための基礎を培います。少人数で行われる初年次医科学セミナーでは、各自が興味のある分野を選択し、演習・実験・実習を通して学びの技法(アカデミックスキル)を身につけます。プロフェッショナルリズム1a・1bでは、医師となるための自覚や心構え、ライフスキルなどを身につけ、自己学修の習慣の確立を目指します。早期に臨床現場を体験するために、早期体験実習としてシミュレーション実習、看護体験実習、臨床科見学実習を行います。1学年次のうちから、解剖学、生理学、生化学など基礎医学系の科目を取り入れています。

Pick Up Curriculum

■ プロフェッショナルリズム1a・1b

医師として社会に貢献するためには、社会が求める医学的知識・技術のみならず態度・価値観も修得しなければなりません。また、医学生が6年間の医学を修めるにあたり、医師となるための自覚や心構え、ライフスキルを身につけ、自己学修の習慣の確立を目指しています。医師としての心構え、多職種連携、医療倫理について学修し、医師という職業について学びます。

■ 初年次医科学セミナー

教員がチューターとなり、学生は少人数の学修グループに分かれて学修し、大学における自己学修のための学修法を自ら体験することで協調性を養います。また、自ら問題を発見し、学修し、解決する能力をトレーニングすることにより、大学生としての自己学修の能力を修得します。

■ 解剖学1a・1b、解剖学実習1a・1b

「医学知識と科学的探究」のため、生体の正常な構造や機能を理解し、疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学知識を学びます。また、実習を通して『コミュニケーション』と『プロフェッショナルリズム』を修得します。「次世代の医学のため無報酬で自らの身体を提供する」献体の精神に学び、医の倫理を身につけます。人体の構造の美しさ、精巧さ、多様性を学び、医療人としての観察眼を養います。「学問には終止も境界もない」一学無止境の精神に学び、医学の奥深さを知ることになります。

■ 生化学1

「医学知識と科学的探究心」の理解のため、生化学の基礎である生体の代謝学を学び、そのことによって、疾病の病因と病態・治療につな

がる基礎医学的な要素の理解・説明にもつながっていきます。生化学の講義・実習で得た知識を基にして、将来診療で経験した病態の解析につながる学修を行います。疾患を含むすべての生命現象は基本物質の相互作用と代謝の上に成立していることを学びます。



基礎科学

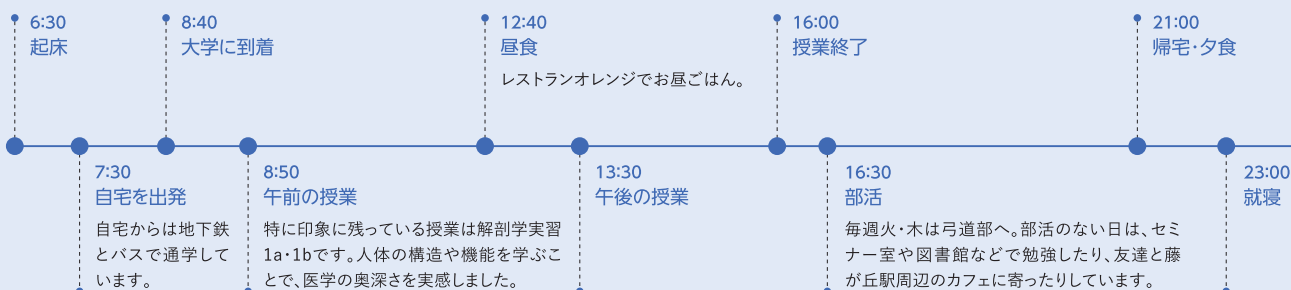


勉強と部活を両立しながら 大学生活を楽しみたいです

1学年次※ 栗本 茉矢（愛知県 愛知淑徳高校出身）※取材当時

小さい頃から病院にかかることが多く、医師や医療を身近に感じていました。そして診察してくださる先生方の姿を見て、「自分も人の健康を支える立場になりたい」と思うようになりました。入学当初は勉強量の多さに圧倒されましたが、少しずつ計画的に進める大切さを学びました。勉強方法も、最初は暗記中心で進めていましたが、それだけでは時間が足りないことに気づき、今では全体のつながりを意識しながら理解するようにしています。また、友達と一緒に勉強することで、お互いに教え合ったり励まし合ったりしながら理解を深めることの大切さも感じました。まだ医学の基礎を学んでいる段階なので、まずは授業の内容を理解して知識を積み重ね、将来、患者さんの気持ちに寄り添える医師になるための土台をしっかり作っていきたいです。

[ONE DAY SCHEDULE]



2学年次では、本格的に基礎医学系の科目が開講され、高学年次で学ぶ臨床医学と有機的に結びつく統合講義を取り入れ基本的知識を学修します。疾病の性状や病因について学ぶ病理学、薬物の作用とその生体反応について学ぶ薬理学を学修します。

プロフェッショナリズム2では、医師として多様なニーズに対応できるようになるのみならず、多様なキャリアパスを展望できるよう学びます。

社会的存在としての患者、患者をケアする医療チームのあり方を体験する地域社会医学実習、チーム医療実習及び外来案内実習を行っています。

Pick Up Curriculum

■ プロフェッショナリズム2

医師として社会の多様なニーズに対応できるようになるのみならず、多様なキャリアパスを展望できるようになるために、「医師として求められる基本的な資質・能力」である『プロフェッショナリズム』、『医学知識と問題対応能力』、『診療技能と患者ケア』、『コミュニケーション能力』、『チーム医療の実践』、『医療の質と安全管理』、『社会における医療の実践』、『科学的探究心』、『生涯にわたって共に学ぶ姿勢』についての理解を深め、医療専門職ならびに医療専門職以外の有識者と議論をしながら学修を進めます。

■ 生理学2

人体各種組織や器官、及び器官系の正常機能、ならびにそれらの相互作用による生体協同や

恒常性を理解し、疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素を理解します。生理学は生命現象を機能から追究する学問であって、論理的な思考・モデルにもとづいて生命現象を理解・推論する分野です。各臓器系に特徴的な生理調節機構を理解し、恒常性維持機構の破綻から疾病へ至るしくみを理解します。さらに、病態下での生理現象についての理解を進めます。



生理学2

■ 統合講義(腫瘍学)

医学知識と科学的探究心の理解のため、特に腫瘍の病因、病態につながる基礎医学的な要素、社会医学的背景を学び、さらに腫瘍の症候と適切な治療選択の概要、チーム医療を理解します。腫瘍の基礎医学、社会医学から臨床医学までを俯瞰的に理解します。

■ チーム医療実習

「プロフェッショナリズム:チーム医療」「コミュニケーション」を理解するために、チーム医療にその一員として参加し、医師の役割や他職種の役割を体験します。保健・医療・福祉・介護及び患者に関わるすべての人々の役割を理解し、相互の尊重のもとに適切な行動をとることを学びます。

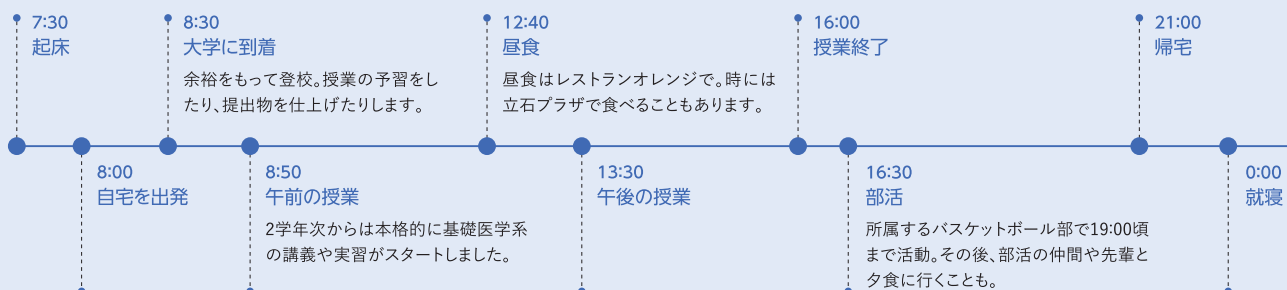
多様な経験を通して 良い人間として成長したいです

2学年次※ 崎枝 昂世 (熊本県 熊本マリスト学園高校出身) ※取材当時

2学年次で特に興味を持って取り組んだ授業は、解剖学実習です。実習では臓器の大きさや質感など、教科書だけでは感じることはできない、実際に触れることで初めて学べるものがたくさんあり、貴重な経験になりました。また、ご献体された方が自分にとって「人生初の患者さん」という気持ちで取り組むことで、医師を目指す自覚がより高まりました。1学年次の早期体験実習では、医療現場での医師や看護師の仕事について理解を深め、それまでの「医師になりたい」という漠然とした思いから、「良い医師になるためには、どのような大学生活を送るべきか」を考えるようになりました。今後も勉強や部活、アルバイトなど様々なことにチャレンジし、色々な経験を積むことで、医療従事者になる前に、まず良い人間として成長していきたいです。



[ONE DAY SCHEDULE]



3学年次では、疫学、環境衛生、労働衛生といった各分野における社会と医学の関わりを学ぶ公衆衛生学や衛生学などの社会医学を学修します。

さらに、本格的に臨床医学の講義が展開され、症候学や臓器別に内科・外科を学びます。

時代の要請に即した東洋医学、高齢医学といった科目も開講されます。

また、学外での地域医療機関における実習を通して、医師及びその他の医療専門職の業務を体験し、

地域医療について理解を深めると共に、医学生としての自覚を深めます。

Pick Up Curriculum

■ 地域医療早期体験実習

大学病院以外の一般の地域医療機関において、どのような医療が実践されているのか、医師及び医療スタッフの業務を体験します。臨床講義が続く時期に、地域医療の現場に出ることで学修意欲を高め、次年度のクリニカル・クラークシップへの準備とすることを目的としています。



衛生学

■ 衛生学

特に産業保健、環境保健、母子保健、食品衛生、精神保健分野について、人の健康行動につながる要因について理解し、さらに、疾病・障害・健康問題と社会との関係や、社会における医療問題を説明できることを目指します。また、地域の医療状況、社会経済的状况を含めた特殊性や課題について説明できることを目標としています。健康や疾病が、生活・労働・教育の場での諸活動や地域環境、地球環境と密接な関連を持っていることを具体的に学びます。医師は、疾病を治療するという働きのみではなく、人々がいきいきと生活できるよう、専門的な知識・技術を基盤とし、社会的諸関係に働きかけることを通じて職能を果たすべきことを学びます。

■ 症候学

系統講義で学修した「医学知識と科学的探究心」を横断的に網羅し、より深い医学知識を修得します。コンピテンスの「診療技能」の理解のため、主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を各分野統合して学ぶことにより、医師として必要な基本的診察知識を修得します。

■ 血液・造血管学

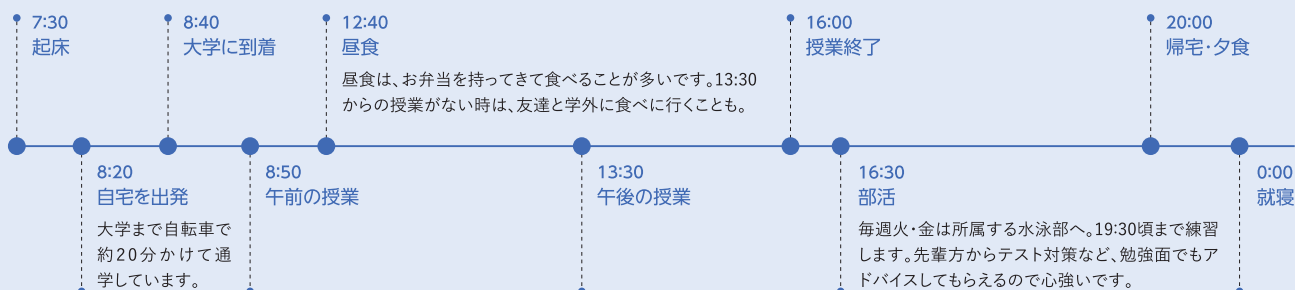
血液・造血系の生理、病理、薬理学を理解します。鑑別診断を含む血液疾患の症候、分子・遺伝子病態、診断、治療（造血幹細胞移植・輸血を含む）を理解します。

基礎医学の 重要さを実感

3学年次※ 森山 葵（愛知県 南山高校出身）※取材当時

医学部受験を決意したきっかけは、新型コロナウイルスの流行でした。医療従事者の方々が不安と向き合いながらも多くの命を守る姿に感銘を受け、私も医学を学び、将来は社会に安心と希望を届けられる存在になりたいと考えるようになりました。1・2学年次の基礎医学を経て、3学年次から臨床医学を学ぶ中で、これまで断片的だった知識が結びつき、病態や治療を体系的に理解できるようになりました。基礎医学が臨床に直結していることを実感し、医学の面白さと奥深さを改めて感じています。一方で学習量は飛躍的に増え、理解を深める難しさも実感しました。学生ホールやセミナー室を活用し、友人たちと協力しながら学ぶことで、知識を確かなものにしてきました。今後は患者さん一人ひとりを総合的に捉え、医療チームの一員として患者さんに安心を届けられる医師を目指したいです。

[ONE DAY SCHEDULE]



4学年次では、さらに医学知識を深めるため多く臨床医学の講義が行われます。地域医療総合医学では、地域医療実践のための総合診療、プライマリ・ケア及び地域包括ケアについて学び、クリニカル・クラークシップでの地域医療への準備をすると共に、地域医療への理解を深めます。基本手技・医療面接実習、臨床実習入門では、クリニカル・クラークシップに進むための基本的な技能・態度を修得します。

8月～9月に実施される医学生共用試験CBT・臨床実習前OSCEに合格した者には、10月の白衣式で「臨床実習生(医学)」(英語表記: Clinical Clerkship Student)の称号が与えられ、診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)が始まります。

Pick Up Curriculum

■ 医療と倫理

プロフェッショナリズムにおける、特に倫理に関わる医師としての価値観・態度・姿勢を身につけることを目標としています。さらに、コミュニケーションにおける良好な関係構築のために個人レベル、社会レベルの様々な問題を知り、「医学的知識と科学的探究心」における医学、医療を取り巻く社会における様々な問題を知り、解決するための根拠を収集し、それらの根拠を客観的に評価した上で、解決へと結びつける方法論を学びます。まず、患者の基本的権利を熟知し、これらに関する現状の問題点を学びます。また、医療と医学研究における倫理の重要性を知り、その上で倫理的、法律的、社会的な問題を様々な立場、視点から多角的に考え、ディベートにより、それらの問題に対する医師としての判断をどのように導くか、論理的な思考力とコミュニケーションを身につけることを目的としています。

■ 地域医療総合医学

地域医療とは、対象とするコミュニティを特定し、そのニーズを明らかにし、その地域で包括的な医療を提供する医師として幅広い診療を提供すると共に、プライマリ・ヘルスケアの視点を持って地域全体の健康を目指して医療活動することです。地域医療実践のための総合診療、プライマリ・ケア及び地域包括ケアについて学びます。



基本手技・医療面接実習

■ クリニカル・クラークシップA

「臨床実習生(医学)」(英語表記: Clinical Clerkship Student)の認定を受け、臨床実習を行います。学生が主体となり、患者さんとの関わりの中から臨床医学を学びます。従来型の見学主体ではなく、学生が研修医・指導医で構成される診療チームの一員として診療に参加し、指導医の監督のもとに実際の診療を行います。単に教科書に記載された知識の理解だけでなく、基本的診療技能、臨床現場での推論の仕方、患者さん・コメディカルとのコミュニケーションなどを修得します。

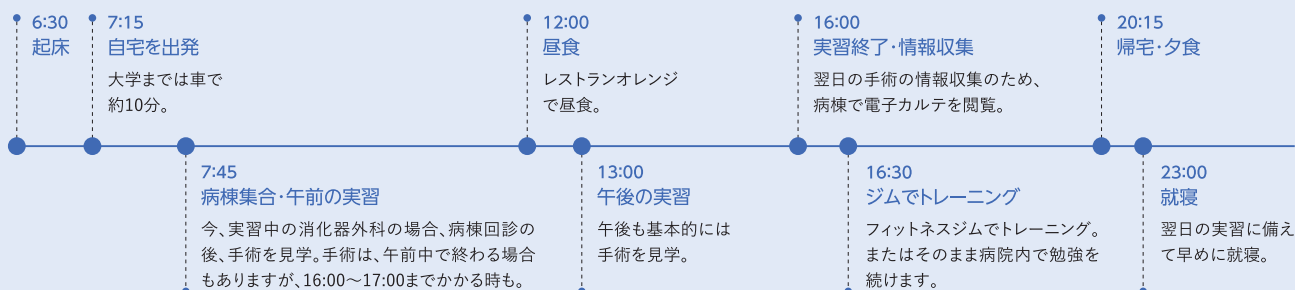
病気だけでなく 「人を見る」大切さを実感

4学年次※ 菊田 健太 (神奈川県 桐蔭学園高校出身) ※取材当時

1・2学年次は基礎医学が中心でしたが、3・4学年次になると、臨床医学の先生方が講義や実習を担当してくださり、より医療の現場に近い学びになりました。そして実際の疾患や治療について学ぶ機会が増えたことで、医師として働く自分の姿をより明確にイメージできるようになったと感じます。また4学年次のCBT・OSCEの前に行われた「地域医療早期体験実習※」では、大学病院以外の一般の地域病院を見学させていただきました。現場では、各地域の医療のあり方を学ぶと共に、入院患者さんのライフストーリーを直接聴かせていただく機会もあり、生い立ちやご職業など患者さんの人生や背景に触れることで、病気を診るだけでなく、「人を見る」大切さを実感。今後も、現場で学ぶ一つひとつの経験を大切にしながら将来に活かしていきたいです。 ※2025年度までは4学年次実施



[ONE DAY SCHEDULE]



5 学年次 カリキュラム

「臨床実習生(医学)」(英語表記: Clinical Clerkship Student) として医療チームに参加する

5学年次は、4学年次から引き続き大学病院でクリニカル・クラークシップを行います。

実際に患者さんに接して、医師にふさわしい態度や技術を身につけます。

9月以降は選択制のクリニカル・クラークシップになります。

また、自己の学修レベルをチェックするため、総合試験が年3回実施されます。

Pick Up Curriculum

■ クリニカル・クラークシップA・B

学生が主体となり、患者さんとの関わりの中から臨床医学を学びます。従来型の見学主体ではなく、学生が研修医・指導医で構成される診療チームの一員として診療に参加し、指導医の監督のもとに実際の診療を行います。単に教科書に記載された知識の理解だけでなく、基本的診療技能、臨床

現場での推論の仕方、患者さん・コメディカルとのコミュニケーションなどを修得します。

クリニカル・クラークシップBでは、学生自ら選択する診療科で実習を行い、一部の期間には学外の協力病院を選択し実施しています。

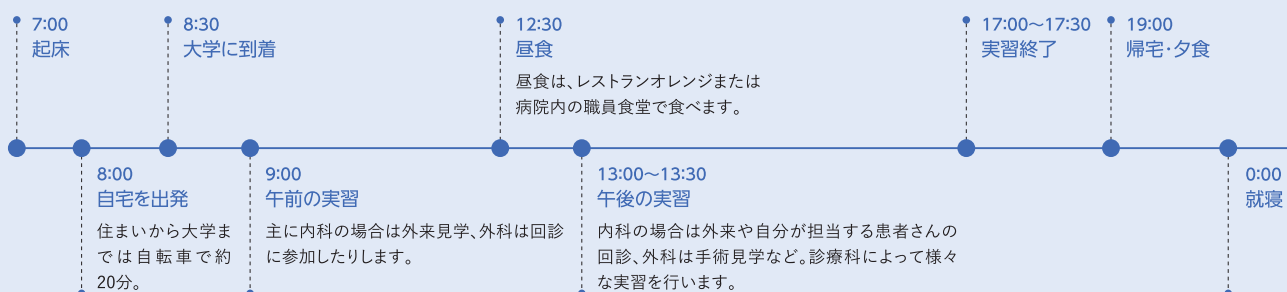


患者さんの視点で医療を 考えられるようになりました

5学年次※ 岩下 有里 (兵庫県 小林聖心女子学院高校出身) ※取材当時

4学年次前期までは、テストやCBTなど目先の試験のために勉強し、知識を覚えることで精一杯でしたが、後期からクリニカル・クラークシップAが始まり、患者さんの様々な話を聞くことで、患者さんの立場になって医療を考えられるようになりました。また実際に医師や看護師がどのように治療を決めているかを知り、教科書通りではなく、大切なのは患者さんの状態に合った治療を提案し、患者さんと一緒に治療の仕方を考えることだと気づきました。まだ将来の進路は決められていませんが、今、興味があるのは内分泌内科です。内分泌内科は、患者さんの様々な病歴や症状、徴候などをもとに、身体全体を診られる所に魅力を感じています。今後もクリニカル・クラークシップBで臨床現場の経験を重ねながら、自分が目指したい医師像を見つけていきたいです。

[ONE DAY SCHEDULE]



6学年次では、5学年次から引き続き選択制の臨床・クラークシップを行い、学外の病院での臨床実習も行います。
また、医師国家試験対策として模擬試験や確認テスト、動画講座の配信や個別面談などを実施しています。
卒業を認定するために、医学の知識を問う総合試験、臨床の技能・態度を問う臨床実習後OSCEを実施します。

Pick Up Curriculum

■ 総合試験

卒業を認定するための医学知識を問う試験です。医師国家試験と同じ形式で、医学全般にわたる幅広い知識が求められます。

■ 臨床実習後OSCE

卒業を認定するための技能試験です。模擬患者を前に模擬診察を行います。医療面接から始まり、患者への接し方や診察手技が正しく行えるかが問われます。



医師国家試験

基礎医学・臨床医学・社会医学すべての医学関連科目が出題範囲であり、科目ごとの試験ではなく、すべての科目を取り混ぜた総合問題形式で2日間、計400題の選択肢問題で行われます。医師として知っておくべき内容を出題するとして、概ね4年に1度「医師国家試験出題基準」が改訂され、そこに挙がっている項目、疾患などを基本として出題されます。



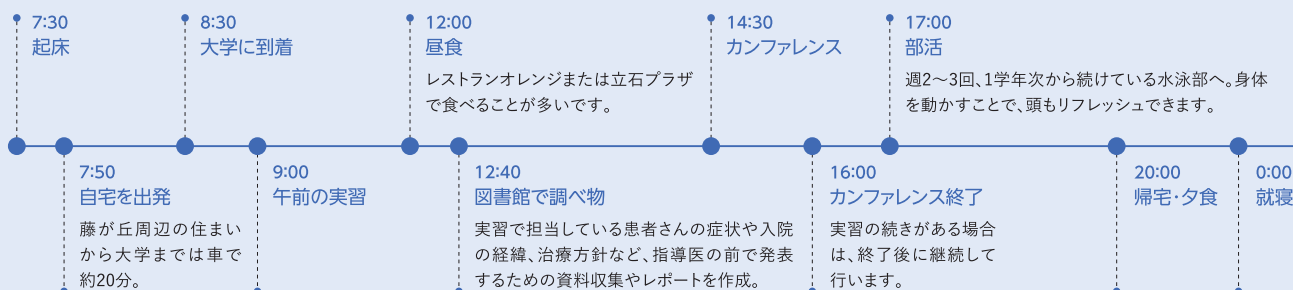
実習を機に消化器内科に興味を持つようになりました

6学年次※ 小田 駿一（愛知県 滝高校出身）※取材当時

医師であった父に憧れがあったことと、先天性心疾患の弟を手術で助けていただいた経験から、自分も誰かの大切な家族を助けたいと考えようになり、医師になろうと決意しました。5学年次の9月から始まった臨床・クラークシップBでは、興味のある診療科を選択し、それぞれ4週間かけてより深く学ぶことができました。特に消化器内科や肝胆膵内科の実習では、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）やERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）といった様々な内視鏡的手技を見学させていただいたことで、「内視鏡を操作することは難しい分、面白い」と実感。消化器内科にとっても興味を持つようになりました。今は医師国家試験に向けての勉強に集中していますが、卒業後の臨床研修でも、より多くの知識や手技など臨床的なスキルをさらに磨いていきたいです。



[ONE DAY SCHEDULE]



医師国家試験に向けて



万全の国家試験対策を実施しています

■医師国家試験対策強化委員会

4～6学年次の学生（各2名）と教員で構成。国家試験合格に向けて、試験対策スケジュールや教材、学修状況などに関する意見を学生から聞き、教員と共に検討しています。

■教員による個別相談

4～6学年次の学生を対象に卒業試験及び国家試験合格に向けて、年間を通して教員による学修指導を行っています。また、6学年次全員に対して予備校講師との面談も実施しています。

■予備校によるサポート

5・6学年次向けに予備校チューターとの学修相談窓口を設置。学修方法や学修計画などの相談が可能です。また、予備校講師による個人学修指導やグループ講義も実施しています。

■卒業試験対策

本学の卒業試験過去問題をデータベース化。Webで過去問題を解くことができ、解答や解説も閲覧可能です。また、教員による卒業試験対策講義も対面及びオンラインで実施しています。



国家試験対策委員長から
メッセージ

目指すは全員合格

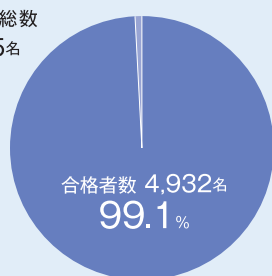
6学年次 梶浦 大輝
(愛知県 旭丘高校出身)

本学では国家試験対策の内容について先生方と学生が協議し、出題傾向や学生の意見を踏まえた上で熟慮されたカリキュラムを作成している点が最大の特長です。また6学年次からはグループ学修に適した医心館が利用可能となり、国家試験に向けて専念できる環境も充実しています。良質な学修環境や手厚いサポートをフル活用して、高い国家試験合格率を維持できるように、仲間と励まし合いながら学修に取り組んでいきたいです。

医師国家試験 高水準の合格率

■卒業生合格状況

卒業生総数
4,975名



本学部ではカリキュラムや学修環境の整備などによって学修効果を上げ、医師国家試験合格率高い水準で安定することを目指します。なお、現在までの卒業生全体4,975名のうち4,932名（99.1%）が国家試験に合格し、医師として活躍しています。

■医師国家試験合格状況

	新卒		既卒		全体	
	合格者 受験者	合格率	合格者 受験者	合格率	合格者 受験者	合格率
第120回 (2026年)	103 110	93.6%	2 5	40.0%	105 115	91.3%
第119回 (2025年)	99 101	98.0%	2 6	33.3%	101 107	94.4%
第118回 (2024年)	118 120	98.3%	0 2	00.0%	118 122	96.7%
第117回 (2023年)	115 115	100%	4 8	50.0%	119 123	96.7%

大学院医学研究科



加齢医科学研究所 教授 岩崎 靖(写真中央)



病理学講座 教授 笠井 謙次(写真右から2人目)

これからの医療・医学界においてリーダーシップを発揮できる研究者を養成します

大学院医学研究科(博士課程)の教育研究上の目的は、「国際水準の研究遂行能力を有する研究者を養成すること」です。この医学研究科は、「基礎医学系」と「臨床医学系」の2つの専攻系から成ります。「基礎医学系」は14の授業科目、「臨床医学系」は32の授業科目でそれぞれ構成しています。各専門分野においては、高度で先端的研究を展開すると共に国際レベルの研究を行う能力を有する研究者の養成を目指しています。このため、複数の履修コースを設け、研究指導を行っています。また、夜間にも授業を開講して、働きながら高度な研究能力を身につけようとする人を、社会人学生として積極的に受け入れています。

■ 複数の履修コース

- 基礎医学専門研究者養成コース(基礎医学系専攻)
⇒ 高度な専門的知識の習得及び研究能力の育成
- 先端臨床研究者養成コース(臨床医学系専攻)
⇒ 臨床研究に特有な基本的知識及び態度を育成

2024年4月開設 文部科学省「次世代のがん
プロフェッショナル養成プラン」採択事業

- 次世代がん医療コース(臨床医学系専攻)
⇒ がん専門医療人材を育成



Message

働きながら
高度で先端的研究に
取り組めます

加齢医科学研究所 教授 岩崎 靖

本学大学院の特色の一つは社会人学生を積極的に受け入れていることで、医師はもちろん薬剤師や理学療法士などの医療系スタッフが、働きながら高度な研究を進めています。またバングラデシュをはじめ、中国、モンゴルなど、海外からの学生も研究指導を受けています。医師免許を取得後、さらに研究を深めたいという人は、ぜひ本学大学院に進んで医学博士を目指してもらいたいと思います。

■ 博士課程

専攻	授業科目
基礎医学系	細胞生理学(生物学)、解剖学、生理学、生化学、薬理学、病理学、感染・免疫学、衛生学、公衆衛生学、法医学、医学・医療教育学、加齢医科学、神経病態・幹細胞生物学、分子医科学
臨床医学系	内科学、精神科学、小児科学、外科学、脳神経外科学、整形外科科学、皮膚科学、泌尿器科学、産婦人科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、放射線医学、麻酔科学、総合医学、形成外科学、救急集中治療医学、リハビリテーション医学、臨床感染症学、病理診断学、統合疼痛医学、口腔外科学、睡眠医学、救命救急医学、輸血・細胞治療医学、新生児学、がん治療学、緩和・支持医療学、戦略的先制統合医療・健康強化推進学、医療安全管理学、医療薬学、災害医学、造血細胞移植・細胞治療情報管理学(連携大学院)

国際的かつグローバルな視野を養うために

現在、本学医学部では、教育・研究の水準を高めることを目的とし、アメリカ、ヨーロッパ及びアジアの9大学(地図参照)と学術国際交流協定を締結し、国際交流活動を広く展開しています。

そのうち以下の6大学の医学部とは、学生の交流プログラムを組み、世界各地の医療や医学教育の現場を体験できる機会を設けています。

[アメリカ] 南イリノイ大学(SIU) 医学部

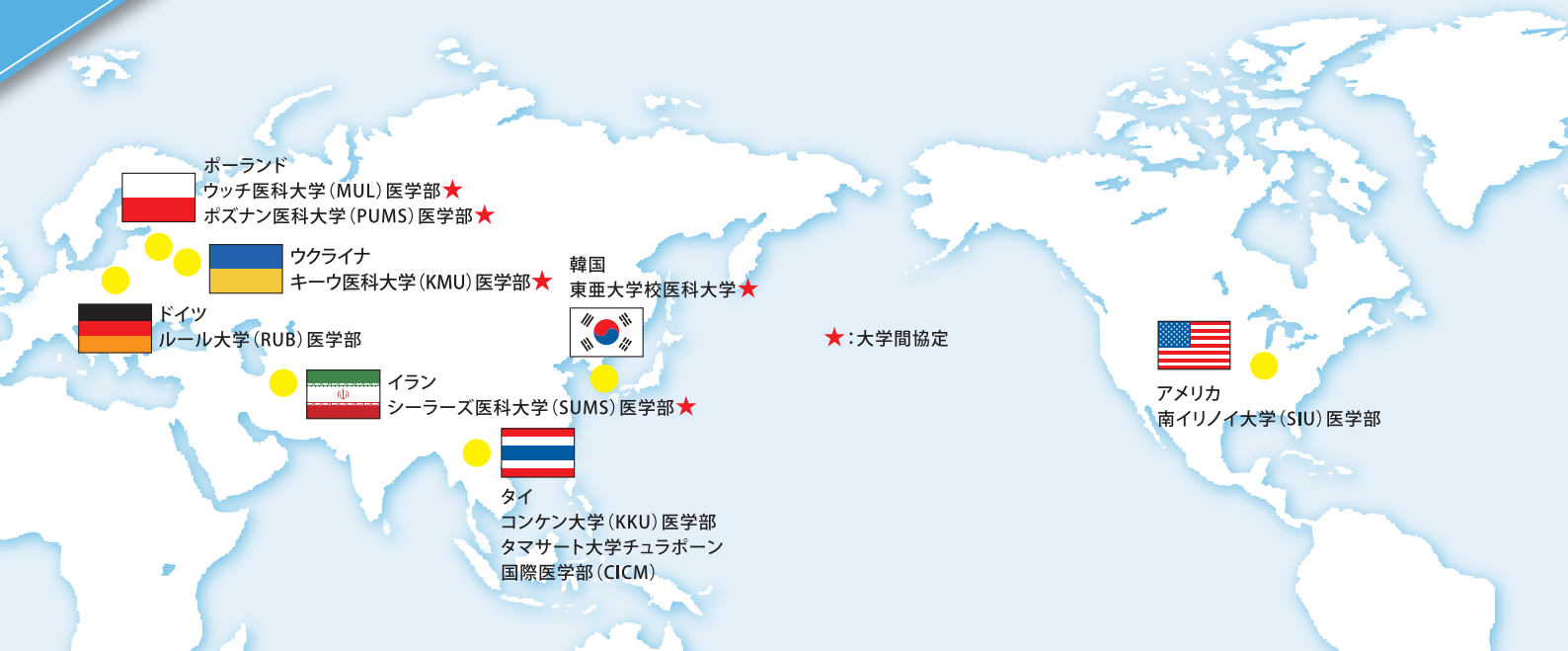
[ドイツ] ルール大学(RUB) 医学部

[タイ] コンケン大学(KKU) 医学部、タマサート大学チュラポーン国際医学部(CICM)

[ポーランド] ウッチ医科大学(MUL) 医学部、ポズナン医科大学(PUMS) 医学部

本学の学生の交流プログラムでは、主に5学年次の学生が現地にて約4~8週間の臨床実習を行います。さらに、南イリノイ大学医学部では、3・4学年次の学生を対象とした約3週間の「SIU医学部2学年次カリキュラム受講コース」も用意しています。

多様なプログラムを運用することで、国際的かつグローバルな視野を養う場を多く提供し、国際交流の一層の活性化を推進しています。



ポーランド ウッチ医科大学 (MUL) 医学部



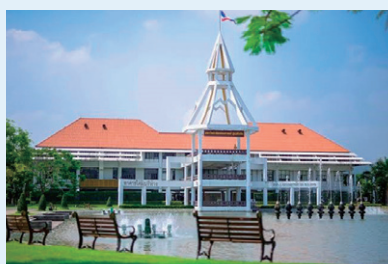
ポーランド ポズナン医科大学 (PUMS) 医学部



アメリカ 南イリノイ大学 (SIU) 医学部



ドイツ ルール大学 (RUB) 医学部



タイタマサート大学チュラポーン国際医学部 (CICM)



タイ コンケン大学 (KKU) 医学部



アメリカ 南イリノイ大学(SIU)医学部

本学では、現在アメリカの南イリノイ大学(SIU)医学部との学生交換を含む包括的な相互交流を行っており、例年、本学医学部学生10名程度が、同大学医学部からは4名程度の学生が留学しています。本学の学生の短期留学プログラムは、2つのコースからなっています。それぞれ英語面接により医学英語力などを見て、留学生を決定します。

■SIU医学部2学年次カリキュラム受講コース

3・4学年次の学生が対象となり、主に春休みの約3週間を利用して、SIU医学部の2学年次カリキュラムを受講する制度です。SIU医学部2学年次と共に問題解決型学習(PBL)、チュートリアル講義などに参加します。例年、7名程度が留学しています。

■SIU医学部臨床実習選択コース

6学年次に進級する学生を対象とした8週間のSIU医学部の4学年次用(日本の6学年次に相当)臨床実習選択コースへ参加する制度で、高度な医学英語力と臨床実習能力が要求されます。例年、5学年次の2月から3月にかけて4名程度が留学しています。このコースへの参加は、本学で5学年次開講分の診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップB)として認められます。

■留学スケジュール(2025年度) [SIU医学部2学年次カリキュラム受講コース]

●募集月:5月頃(3・4学年次) ●派遣時期・期間:2026年3月7日～3月30日 約3週間

■留学スケジュール(2025年度) [SIU医学部臨床実習選択コース]

●募集月:6月頃(5学年次) ●派遣時期・期間:2026年1月31日～3月30日 約8週間

<費用の一例:2025年度>

■SIU医学部2学年次カリキュラム受講コース

航空券代	340,910円
宿泊費	0円 ※本学から補助します!
予防接種代等	40,000円
授業料	0円
生活費(食事代、交通費等)	150,000円

■SIU医学部臨床実習選択コース

航空券代	368,230円
宿泊費	0円 ※本学から補助します!
予防接種代等	15,000円
授業料	0円
生活費(食事代、交通費等)	150,000円

※ほかに、海外旅行保険代等がかかります。
※生活費は、個人差があります。

■医学部臨床実習選択コース (以降5大学共通)



6学年次に進級する学生を対象とした4週間の臨床実習選択コースへ参加する制度で、高度な医学英語力と臨床実習能力が要求されます。このコースへの参加は、本学で5学年次開講分の診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップB)としても認められます。



ドイツ ルール大学(RUB)医学部

ドイツのルール大学医学部とは、2012年1月に学術国際交流協定を締結し、以来活発な相互交流が行われています。同大学とは、学内サークルHIAMU(Heart in Aichi Medical University)を中心に、学生が主体的に交流活動を行っており、同大学の内科・外科などで、例年2名程度の本学医学部学生が臨床実習を行っています。また、同大学医学部からも2名程度の学生が短期留学します。

■留学スケジュール(2025年度)

●募集月:6月頃(5学年次) ●派遣時期・期間:2026年2月20日～3月22日 約4週間

<費用の一例:2025年度>

■RUB医学部臨床実習選択コース

航空券代	257,330円
宿泊費	60,000円
予防接種代等	20,000円
授業料	0円
生活費(食事代、交通費等)	70,000円

※ほかに、海外旅行保険代等がかかります。
※生活費は、個人差があります。



タイ コンケン大学(KKU)医学部

世界のあらゆる地域の医療や医学教育の現場を経験することを目指してタイ コンケンに位置するコンケン大学(KKU)医学部と、2011年11月に学術国際交流協定を締結し、積極的に学生等の交流を推進しています。

2012年度に開始された学生等の交流も既に14年目となり、KKU医学部との関係は成熟し、例年、同大学医学部にて10名までの医学部学生が短期留学しています。また、同大学医学部からは数名の学生が短期留学します。今後も、学生、若手医師、研究者と幅広い交流を予定しており、ますますの発展が期待できます。

■留学スケジュール(2025年度)

●募集月:6月頃(5学年次) ●派遣時期・期間:2026年2月28日～3月29日 約4週間

<費用の一例:2025年度>

■KKU医学部臨床実習選択コース

航空券代	137,480円
宿泊費	65,000円
※ただし、光熱水費等が5,000円～8,000円かかります。	
予防接種代等	100,000円
授業料	0円
生活費(食事代、交通費等)	100,000円

※ほかに、海外旅行保険代等がかかります。
※生活費は、個人差があります。

タイ タマサート大学チュラポーン国際医学部(CICM)

タイのタマサート大学チュラポーン国際医学部とは、2023年4月に学術国際交流協定を締結し、同年度から学部学生の相互交流のプログラムをスタートさせました。また、学部学生だけに限らず大学院学生の交換プログラムも設けるなど、相互関係の範囲を拡大し、積極的に交流を図っています。

■留学スケジュール(2025年度)

●募集月:6月頃(5学年次) ●派遣時期・期間:2026年2月21日~3月22日 約4週間

<費用の一例:2025年度>

■CICM臨床実習選択コース

航空券代	126,810円
宿泊費	60,000円
予防接種代等	100,000円
授業料	0円
生活費(食事代,交通費等)	115,000円

※ほかにも、海外旅行保険代等がかかります。
※生活費は、個人差があります。

ポーランド ウッチ医科大学(MUL)医学部

ポーランドのウッチ医科大学とは、2016年2月に学術国際交流協定を締結し、学生交換を中心とした相互交流をスタートさせました。例年、相互の大学から4名までの医学部学生が短期留学しています。2019年度からは、相互関係の範囲を拡大し、新たに教員などの交流プログラムにも参加しています。

■留学スケジュール(2025年度)

●募集月:6月頃(5学年次) ●派遣時期・期間:2026年2月21日~3月22日 約4週間

<費用の一例:2023年度>

■MUL医学部臨床実習選択コース

航空券代	276,050円
宿泊費	0円
予防接種代等	30,000円
授業料	0円
生活費(食事代,交通費等)	100,000円

※ほかにも、海外旅行保険代等がかかります。
※生活費は、個人差があります。

学生Message

留学先



アメリカ 南イリノイ大学(SIU)医学部 SIU医学部2学年次カリキュラム受講コース

将来はアメリカで 医師として働きたいです

留学先では、PBL(Program-based learning)形式のクラスに参加し、提示された症例に対して鑑別疾患を挙げるグループワークのほか、現地の学生と共に講義を受ける機会もありました。アメリカでは医学部入学前に4年制大学を卒業している必要があり、学生たちが高いモチベーションを持って勉強に取り組む様子を肌で感じることができ、とても刺激になりました。留学を通して、基礎医学と臨床医学を結びつけて学ぶことの重要性を再認識したため、今後は疾患の病態生理や薬理的作用を論理的に説明できるように意識して学修に取り組みたいです。そして英語力のスキルを高め、大学卒業までにUSMLE*のStep1の合格を目指したいと考えています。



*米国医師国家試験(United States Medical Licensing Examination)

4学年次 早稲田 彩乃

(愛知県 金城学院高校出身)

留学を経験した先輩に質問!

Q 留学先の大学を選んだ理由は?

A アメリカの医学生の学校生活や、アメリカの医学教育に興味があったからです。また、現地の学生と共にPBL形式の授業に参加できるというプログラムに魅力を感じたことも理由です。

留学を希望する人にメッセージ!

実際に現地の学生と講義を受けることは、語学力以上に学修への姿勢や医学に対する考え方を見つめ直す貴重な機会になりました。留学は机上での学修だけでは得られない刺激に溢れているため、日本と異なる学びに興味がある方は、ぜひ挑戦してください!



ポーランド ポズナン医科大学(PUMS)医学部

ポーランドのポズナン医科大学とは、2020年4月に学術国際交流協定を締結し、学生交換を中心としたプログラムを立案し、2022年度から相互交流をスタートさせました。相互の大学から2名程度の医学部学生が短期留学する予定です。

■留学スケジュール(2025年度)

- 募集月:6月頃(5学年次) ●派遣時期・期間:2026年2月21日~3月22日 約4週間

<費用の一例:2025年度>

■PUMS医学部臨床実習選択コース

航空券代	229,500円
宿泊費	0円
予防接種代等	10,000円
授業料	0円
生活費(食事代、交通費等)	100,000円

※ほかにも、海外旅行保険代等がかかります。
※生活費は、個人差があります。



ハワイ医学教育プログラム(HMEP)に加盟

2022年9月から一般社団法人JrSrが運営するハワイ医学教育プログラム(HMEP)に加盟しました。5学年次の学生を対象にオンライン学修と臨床実習を融合した米国式教育を他大学の医学部学生と一緒に国内外で受けることができます。

■プログラム構成

- Open Cross Class (オンライン授業)
- E-learning (オンラインの英語教材)
- Clinical Clerkship Preparation Program (HCCPP) (ハワイ実習)
- Clinical Clerkship (HMEPCC) (日本国内で行うハワイ式臨床実習)

※米国の医師国家試験(USMLE)に対応

■留学スケジュール(2025年度)

- 募集月:1月頃(4学年次) ●派遣時期・期間:2025年8月1日~8月10日 10日間(HCCPPコース)(5学年次)
- 派遣時期・期間:2025年10月~2026年3月 1ヶ月間(HMEPCCコース)(5学年次)

<費用の一例:2023年度>

■HCCPPコース(ハワイ実習)

航空券代	227,060円
宿泊費	311,934円
予防接種代等	0円
授業料	1,250\$
生活費(食事代、交通費等)	45,000円

■HMEPCCコース(国内実習)

宿泊費	(授業料に含まれる)
予防接種代等	0円
授業料	33,000円
生活費(食事代、交通費等)	40,000円

※ほかにも、海外旅行保険代等がかかります。
※生活費は、個人差があります。

学生Message

留学先



タイ タマサート大学チュラボン国際医学部(CICM)

留学での経験を活かし 何事にも積極的に挑戦したいです

私は消化器内科と病理診断科を選びました。消化器内科では内視鏡検査や外来診察、放射線カンファレンス、研修医の勉強会など、病理診断科では日々の診断業務や術中迅速診断、検体の切り出し、オンラインカンファレンスなどに参加させていただきました。カンファレンスや勉強会の資料はすべて英語で、日本との違いを感じると共に、現地の学生たちが主体的に実習に参加する姿を見て大変刺激を受けました。今回の留学を通して、自分が日本で勉強した医療英語が海外でもきちんと活用できること、また言語が通じない場所でも工夫しながら暮らしていけることを実感し、自分に自信ができました。こうした留学での学びや経験を活かし、今後さまざまなことに積極的に挑戦していきたいです。

6学年次 鈴木 佳穂

(愛知県 東海高校出身)

留学を経験した先輩に質問!

Q 留学前の学びの準備や情報収集は?

A 自分が選択した消化器内科と病理診断科に関する医療英単語を重点的に勉強しました。また、タマサート大学から本学に留学に来ていた学生と交流して、現地の生活事情などについて聞きました。

留学を希望する人にメッセージ!

留学に対して不安を覚える人も多いかと思いますが、完璧に準備してから行く必要はなく、現地での試行錯誤に価値があるかと思います。留学を迷っているなら、ぜひ一度経験してみてください!



Campus Map

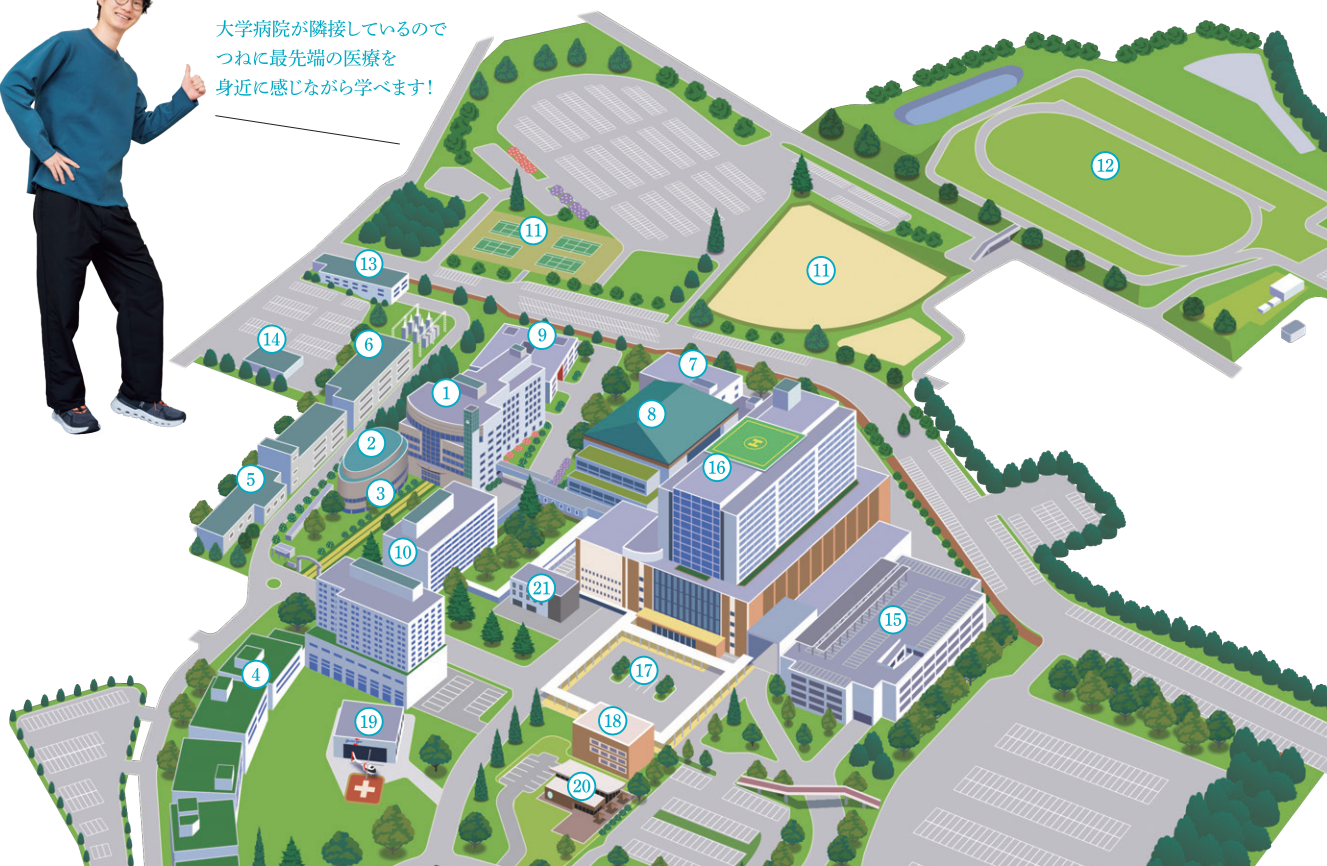
一つのキャンパスに
すべての施設・設備が整っています

講義室から大学病院、図書館、体育館、レストラン、カフェまで、
一つのキャンパスに快適な学生生活のための設備・施設がそろっています。

- | | | |
|---------------------------|---------------------------------|--------------------|
| ① 1号館(大学本館) | ⑧ 6号館(体育館・運動療育センター) | ⑮ 病院外来駐車場(立体) |
| ② たちばなホール | ⑨ 7号館(医心館) | ⑯ 中央棟(診療棟・A病棟・B病棟) |
| ③ レストランオレンジ | ⑩ C棟(C病棟)・D棟(D病棟) | ⑰ バスロータリー |
| ④ 2号館(研究棟) | ⑪ 雁又グラウンド(テニスコート・野球場) | ⑱ アメニティ棟(立石プラザ) |
| ⑤ 3号館(基礎科学棟) | ⑫ 寅山グラウンド
(陸上・サッカー・ラグビー・弓術場) | ⑲ ドクターヘリ格納庫 |
| ⑥ 4号館(看護学部棟) | ⑬ 学生クラブハウス | ⑳ スターバックスコーヒー |
| ⑦ 5号館
(総合実験研究棟・動物実験部門) | ⑭ 保育所(アイキッズハウス) | ㉑ 救急・災害管理棟 |



大学病院が隣接しているので
つねに最先端の医療を
身近に感じながら学べます!



学生ホールと
レストランオレンジは
自習やグループ学修の
場としても活用できる
ようリニューアル!



① 学生ホール

「ラーニングcommons」としてリノベーション。
日頃の自習からグループ学修まで、気軽に自由
に活用できます。



③ レストランオレンジ

医学部・看護学部の学生で賑わう学食です。定食、
麺類、自家製パンなどのメニューが充実しているほか、
テイクアウトメニューも豊富にそろっています。

おすすめランチ!



① 1号館(大学本館)

講義室やセミナー室、学生ホール、レストランオレンジ、総合学術情報センター(図書館)など、学生生活の中心となる施設がそろっています。



① 講義室

100席以上を確保した講義室からグループ学修のためのセミナー室まで、用途に合わせて備えています。



① 総合学術情報センター(図書館)

個人ブースやグループ学修室のある図書館のほか、マルチメディア教室など、快適な学修環境を整えています。



① マルチメディア教室

学内LANが利用できるパソコンが130台設置された教室です。オープン利用室は自習やグループ学修に利用できます。



① セミナー室

主にグループでのレポート作成やテスト前のグループ学修などのために使用されています。



② タちばなホール

入学式や卒業証書・学位記授与式、白衣式などの式典のほか、各種学会・研修の会場としても活用しています。



⑧ 6号館(体育館)

体育の授業をはじめ、バレーボールやバスケットボール、ハンドボール、剣道、卓球などの部活動で使用します。



⑧ 6号館(運動療育センター)

一般の方に向けて各種トレーニング機器を設置。学生も体力向上やリフレッシュのために使用できます。



⑨ 7号館(医心館)

主に医学部6学年次生・看護学部4学年次生が、国家試験に向けてグループ学修及び個人学修に取り組めます。



⑩ ドクターヘリ格納庫

荒天時も空港に避難することなく天候回復後にすぐに出勤できるよう愛知医科大学病院には格納庫が整備されています。格納庫は愛知県を始め近隣地域の救命率向上に大きく貢献しています。



ベーカリーコーナーも充実!



⑮ アメニティ棟(立石プラザ)

1階にはコンビニエンスストア、2階にはフードコートが入り、バスの待合空間としても利用できます。



⑯ スターバックスコーヒー

開放的なテラス席からは立石池やその周辺に広がる四季折々の風景を楽しめます。春は桜がきれいです!

Campus Calendar

人としても、
大きく豊かに成長できる6年間

4	■ 入学式 ■ 新入生ガイダンス ■ 新入生研修(1学年次) ■ 前学期授業開始 ■ 定期健康診断 ■ 交通安全講習会		
5	■ 総合試験(5・6学年次) ■ 解剖慰霊祭 ■ 早期体験実習1a[シミュレーション実習](1学年次) ■ 早期体験実習1b[看護体験実習](1学年次)		
6			
7	■ 共用試験臨床実習後OSCE(6学年次) ■ 外来案内実習(2学年次) ■ 夏季休業		
8	■ 夏季休業 ■ 共用試験CBT(4学年次) ■ 西日本医科学生総合体育大会(西医体) ■ HMEP ハワイ大学短期留学(5学年次) ■ 後学期授業開始(1～3・5学年次) ■ 地域医療早期体験実習(3学年次) ■ 共用試験臨床実習前OSCE(4学年次)		
9	■ 後学期授業開始(4学年次)		
10	■ 後学期授業開始(6学年次) ■ 総合試験(5・6学年次) ■ 白衣式(4学年次) ■ 防災訓練 ■ 早期体験実習1c[臨床科学実習](1学年次) ■ HMEP 国内短期留学(5学年次)(10月以降)		
11	■ 医大祭 ■ チーム医療実習(2学年次)		
12	■ 冬季休業		
1	■ 地域社会医学実習(2学年次) ■ 総合試験(2・4・5学年次)		
2	■ 医師国家試験 ■ 南イリノイ大学短期留学 [臨床実習選択コース](5学年次) ■ ルール大学短期留学(5学年次) ■ ウッチ医科大学短期留学(5学年次) ■ ポズナン医科大学短期留学(5学年次) ■ タマサート大学チュラボン 国際医学部短期留学(5学年次)		
3	■ 卒業証書・学位記授与式 ■ 医師国家試験合格発表 ■ 春季休業 ■ コンケン大学短期留学(5学年次) ■ 南イリノイ大学短期留学 [2学年次カリキュラム受講コース] (3・4学年次)		

Club & Circle

多くの学生が
クラブ&サークルに所属しています



Track and Field Club



Table Tennis Circle



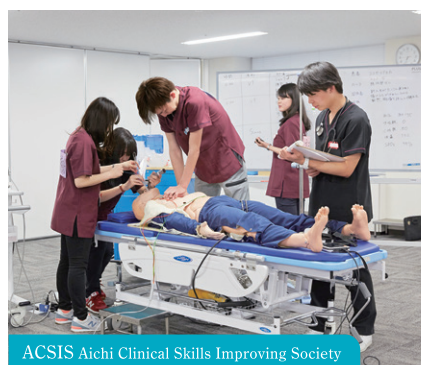
Archery Club



Handball Club



Badminton Club



ACSIS Aichi Clinical Skills Improving Society



Kyudo Club



Basketball Club



Volleyball Club



Kendo Club



Soccer Club



HIAMU Heart in Aichi Medical University

クラブ&サークル一覧

- | | | | | |
|--------------|-----------|-------------|--|--|
| ■ 合気道部 | ■ 硬式野球部 | ■ 東洋医学研究会 | ■ ラグビーフットボール部 | ■ ボードゲーム同好会 |
| ■ アイスホッケー部 | ■ ゴルフ部 | ■ バスケットボール部 | ■ 陸上競技部 | ■ ACSIS(Aichi Clinical Skills Improving Society) |
| ■ 弓術部(和弓・洋弓) | ■ サッカー部 | ■ バドミントン部 | ■ ワンダーフォーゲル部 | ■ FUTSAL同好会 |
| ■ 軽音楽部 | ■ 水泳部 | ■ バレーボール部 | ■ HIAMU(Heart in Aichi Medical University) | ■ Medical Science Club(MSC) |
| ■ 剣道部 | ■ スキー部 | ■ ハンドボール部 | ■ アンサンブル同好会 | |
| ■ 硬式庭球部 | ■ ソフトテニス部 | ■ ボード部 | ■ 卓球同好会 | |

(R8.4.1現在)

愛知医科大学は設立以来、東海地区はもちろん、
様々な地方から学生が集まる全国型の医科大学であることも特色の一つです。

全国から学生が
集まっています！

41

47 都道府県

在学者数 721名
(男子412名 / 女子309名)
2026年4月現在

出身地

(出身高校所在地)

- 101名以上
- 81～100名
- 61～80名
- 41～60名
- 21～40名
- 1～20名

from
OKAYAMA

暮らしに必要な施設が
すべて徒歩圏内にあります



住まい探しの際、大学周辺か、
藤が丘駅の近くかで迷いましたが、
その中間に位置する場所を選びました。
周辺にはスーパーや飲食店、
ドラッグストア、図書館など、
毎日の生活に必要な施設が
すべて徒歩圏内にあるので、
結果的にとても満足しています！

3学年次 塩手 駿和 (岡山県 岡山朝日高校出身)

from
OSAKA

安心して一人暮らしが
できる環境です



住まいの周辺には生活施設が
そろっているだけでなく、
駅前には飲食店も多いので、
友達や所属する弓道部の仲間と
一緒にご飯に行くことも。
一人暮らしは大変な面もありますが、
勉強と部活、アルバイトを両立しながら、
充実した毎日を送っています。

3学年次 富 絵玲奈 (大阪府 開明高校出身)

from
TOKYO

名古屋中心部への
アクセスの良さも魅力です



入学当初は勉強と家事との両立が
大変だった時期もありましたが、
その分、自由時間も多く、
自分で時間をマネジメントすることが
上手になったと思っています。
大学周辺は自然と利便性の
バランスが良く、医学の勉強も
プライベートも充実させられる環境です。

5学年次 黒田 星 (東京都 桐朋高校出身)

卒業後の進路 (2025年度卒業生研修先 ※2026年4月現在 施設名順不同)

■愛知県内／愛知医科大学病院、岡崎市民病院、津島市民病院、小牧市民病院、江南厚生病院、聖霊病院、地域医療機能推進機構 中京病院、名古屋掖済会病院、海南病院、名古屋記念病院、稲沢市民病院、国立病院機構名古屋医療センター、大同病院、一宮市立市民病院、名古屋市立大学病院、名鉄病院、総合大雄会病院、公立西知多総合病院、中部労災病院、知多半島総合医療センター、旭ろうさい病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、豊橋市民病院、豊田厚生病院、西尾市民病院、名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、蒲郡市民病院、名城病院、成田記念病院

■愛知県外／【北海道】札幌厚生病院、斗南病院【宮城県】社会医療法人将道会総合南東北病院【茨城県】水戸協同病院、筑波大学附属病院、水戸赤十字病院【埼玉県】獨協医科大学埼玉医療センター【東京都】帝京大学医学部附属病院、昭和医科大学江東豊洲病院、日本大学医学部附属板橋病院【神奈川県】横浜国立大学附属市民総合医療センター、聖隷横浜病院、湘南藤沢徳洲会病院【長野県】飯田市立病院【石川県】国立病院機構金沢医療センター【静岡県】中東総合医療センター、浜松医科大学医学部附属病院【岐阜県】多治見市民病院、高山赤十字病院、松波総合病院、岐阜大学医学部附属病院、東海中央病院【三重県】市立四日市病院【滋賀県】滋賀医科大学医学部附属病院、滋賀県立総合病院【京都府】医療法人財団康生会武田病院【大阪府】大阪医科大学病院、PL病院、近畿大学病院、大阪大学医学部附属病院、大阪公立大学医学部附属病院、関西医科大学附属病院【兵庫県】兵庫医科大学病院【愛媛県】HITO病院【福岡県】産業医科大学病院、高木病院【沖縄県】中頭病院、南部徳洲会病院

Area Information

長久手市は、愛知県内有数の文教エリア 名古屋へのアクセスも快適です

キャンパスのある長久手市は、県内でも有数の文教エリアとして、そして自然豊かなニュータウンとして発展を続けています。大学周辺にはカフェやレストラン、各種生活施設などが充実しているほか、隣接する名古屋市へのアクセスも快適です。

長久手

NAGAKUTE

緑豊かな環境の中
多彩な生活施設が充実しています



愛・地球博記念公園 (モリコロパーク)

2005年に開催された愛知万博長久手会場の跡地に開業した総合公園です。2022年、園内にスタジオジブリ作品の世界を表現した「ジブリパーク」が誕生。現在では5つのエリアすべてが開園しています。

学生
VOICE

人気のジブリパーク、
大学在学中にぜひ行きたいです！



イオンモール長久手

多数の専門店・飲食店などが入る大型ショッピングモール。併設の「イオンシネマ長久手」では、映画のシーンと連動して座席が動く「D-BOX」を導入したスクリーンもそなえています。

学生
VOICE

休日に映画やショッピングを
気軽に楽しめます！



IKEA長久手

東海地区での初店舗としてオープン。おしゃれでリーズナブルな家具やインテリア雑貨が人気のほか、レストランでは北欧料理も楽しめます。

学生
VOICE

ほかにも日帰り入浴施設
「長久手温泉ござらっせ」もオススメ！
心身共にリフレッシュできます。

名古屋

NAGOYA

大学最寄りの「藤が丘」駅から
地下鉄東山線で名古屋中心部に直結



名古屋駅周辺

駅周辺には「JRセントラルタワーズ」「JRゲートタワー」「KITTE名古屋」など商業施設が充実。さらにリニア中央新幹線開通に向けて開発が進む「グローバルゲート」など、ますます発展を続けています。

学生
VOICE

大学周辺から地下鉄1本で直結。
帰省や遠出する時にも便利です！



栄

名古屋の中心に位置し、デパートやおしゃれなショップが集結する栄エリア。「Hisaya-odori Park (久屋大通公園)」や「中日ビル」がオープンするなど、さらに活気づいてきました。

学生
VOICE

ショッピングや食事などに
よく出かけます。

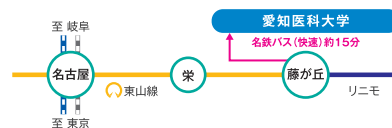


藤が丘

スターバックスコーヒーやサイゼリヤ、成城石井などが入る商業施設「藤が丘effe」のほか、駅前には銀行や郵便局、飲食店、スーパーマーケット、書店など生活に必要な施設がそろっています。

学生
VOICE

駅周辺は居酒屋も多く、仲間や
友達との飲み会にも利用します。



Q 一人暮らしの学生は
どんなところに住んでいますか？

A

キャンパスへの通学のしやすさを考慮し、地下鉄東山線・藤が丘駅周辺や長久手市内に住む学生が多いです。新入生には、できるだけ大学から徒歩または自転車まで10分圏内の物件をお勧めしており、大学周辺にはショッピングモールや大型スーパー、飲食店がそろっているため、日常生活に不便はありません。また、入学手続の際には住居の紹介も行っており、食事付き学生マンションの紹介も可能です。

大学周辺の家賃相場は

東京・大阪と比べてリーズナブル
治安や利便性も良く、
快適な学生生活を送れます

東京・大阪エリアの家賃平均

東京 10万円
大阪 7.8万円

※1K～1LDKタイプのエリア相場平均値にて設定。
※ミニミニ調べ

大学周辺の主要エリアの家賃相場

藤が丘駅周辺エリア	長久手エリア	尾張旭・瀬戸エリア
1K 4.5～6.8万円	1K 4.0～6.5万円	1K 3.5～5.6万円
1LDK 6.0～9.8万円	1LDK 5.5～8.0万円	1LDK 5.3～7.0万円

※表示金額は学生料金となります。※ミニミニ調べ (2025年5月現在)



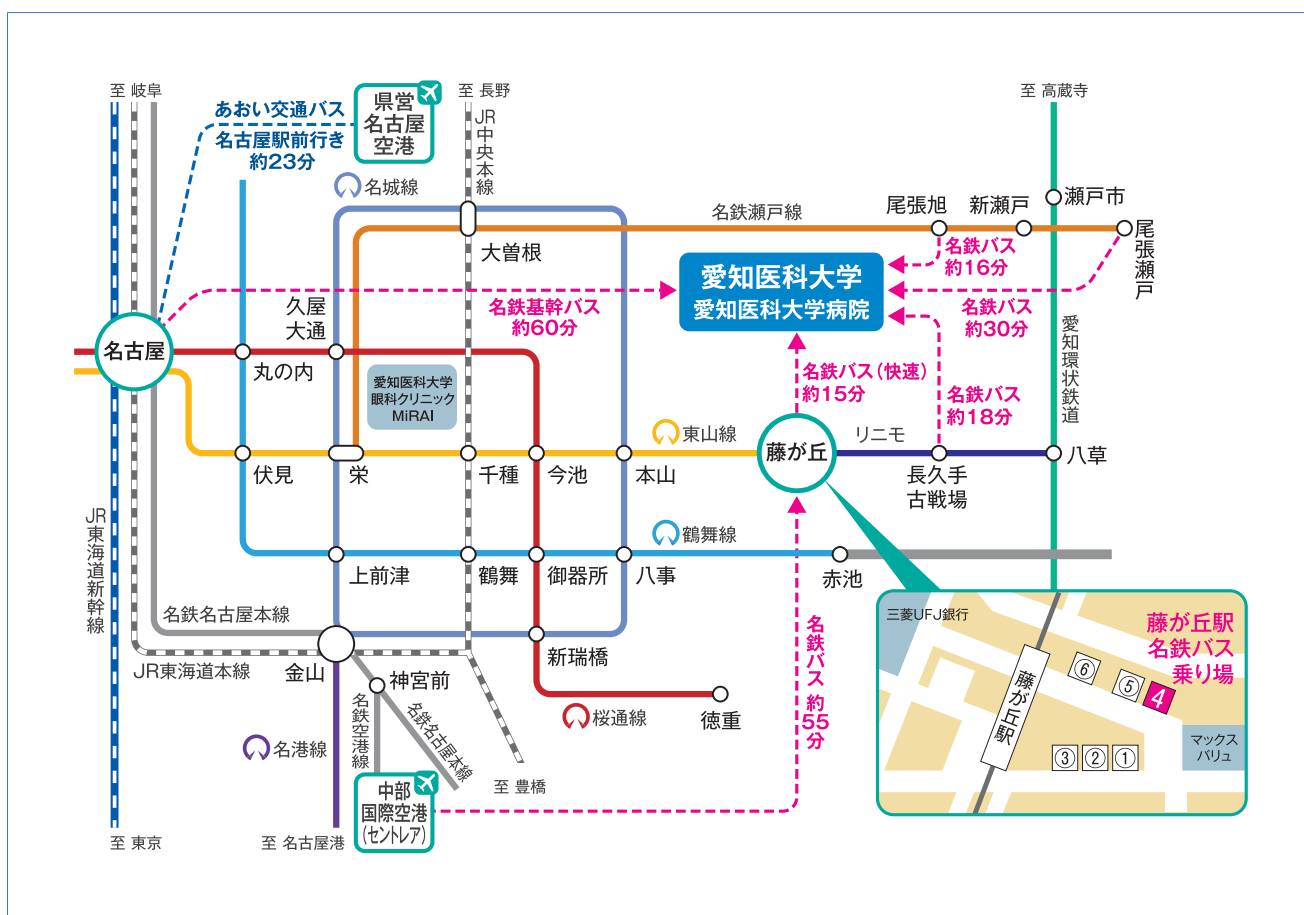
UNIVERSITY
ACCREDITED
2021.4~2028.3
財団法人大学基準協会
「大学基準適合認定」



ACCREDITED
2020.6-2027.5
一般社団法人
日本医学教育評価機構
「医学教育分野別評価受審」

ACCESS

「名古屋」駅から地下鉄東山線で「藤が丘」駅まで約27分
「藤が丘」駅から名鉄バスで約15分



愛知医科大学 医学部

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
TEL:0561-62-3311(代表)
0561-61-5315(直通)
FAX:0561-62-6690
URL <https://www.aichi-med-u.ac.jp>

最新情報はWebサイトや
SNS公式アカウントをチェック!



Webサイト



X



Instagram